

四十年史



平成26年



静岡県アスファルト合材協会

Shizuoka Prefecture Asphalt Mixture Association

40周年を迎えて



静岡県アスファルト合材協会

会長 田中 豊

静岡県アスファルト合材協会は、1975年（昭和50年）に設立され、今年（2015年）で40周年を迎えることができました。これもひとえに当協会の発展、会員の資質向上にご指導いただきました関係行政当局の皆様、静岡県道路舗装協会、静岡県砕石業協同組合、そして歴代会長、役員、会員各位の皆様のご尽力の賜と厚く御礼申し上げます。

特に前岡本会長時代に確立された全国唯一のクロスチェック制度は、当会員企業の技術力の底上げや品質確保に大きく寄与し、今日も当協会の中核の事業として、日々改善に努力し続けております。

2008年（平成20年度）まで約200万トンあった生産量もその後減少傾向にあり約150万トン前後で推移しています。この状況の中、安全対策は基より、プラント設備の老朽化、地球温暖化対策に代表される環境問題（中温化合材への対応等）、今後30年間で起きる確率が88%と言われている東海地震等への対応（道路啓開作業への協力、電源の確保等）、人口減少時代での人材確保問題（技術継承、教育）等々、合材1トン当たりのコスト率アップ圧力が今後も増加していくと思われます。経営面及び合材の安定供給の維持という面からも、合材需要の安定・適正利益は、重要なファクターであり、最終的には個々の企業の経営判断に寄らざるを得ないところも多々ありますが、当協会の大きな課題であります。

特に合材出荷量の70%強（2013年度実績）を官庁に依存している当業界としては、昨年当県にも道路メンテナンス会議が発足したところであり、是非とも計画的な維持修繕工事の発注及び平準化をお願いするところであります。

今後も業界としての社会的責任を果たし続けるためには、舗装・砕石・合材の3団体の協力体制が重要であると考えておりますので、行政を含めた関係者の皆様方には、より一層のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

なお、本年度は一般社団法人日本アスファルト合材協会も30周年に当たり、その記念事業として、昨年度、全国の小中学生を対象にしたアスファルトプラントの見学会及び「道路、道に関する」作文コンクールが実施されました。当県より応募した作品もこの記念誌に掲載させていただきましたのでご一読いただければ幸いです。

* * * 目 次 * * *

祝辞

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 所長 森川 博邦 様	4
静岡県交通基盤部 部長 野知 泰裕 様	5
静岡市建設局 局長 寺田 薫 様	6
浜松市財務部技術監理課 課長 高橋 洋 様	7
(一社) 静岡県建設業協会 会長 木内 藤男 様	8
(一社) 日本アスファルト合材協会 会長 磯 昭男 様	9
静岡県道路舗装協会 会長 竹村 寧 様	10
静岡県碎石業協同組合 理事長 井上 光由 様	11

40周年に寄せて

静岡県アスファルト合材協会 名誉会長 岡本 彦一	12
--------------------------------	----

年史 ～40年のあゆみ～

静岡県アスファルト合材年表	13
---------------------	----

役員・委員会代表者の変遷	26
--------------------	----

会員名簿	34
------------	----

加盟アスファルトプラント紹介	38
----------------------	----

寄稿

静岡県交通基盤部道路局道路保全課	99
静岡県アスファルト合材協会 総務委員会	104
〃 技術委員会	121
〃 資料調査委員会	126

表彰者一覧	138
-------------	-----

あとがき	144
------------	-----

静岡県アスファルト合材協会創立40周年への祝辞



国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所

所 長 森川 博邦

静岡県アスファルト合材協会が創立40周年を迎えられましたことを心から御祝い申し上げます。
また、会員の皆様におかれましては、平素より社会資本整備の第一線で御活躍されていることに心から敬意を表します。

貴協会は、昭和50年に設立されて以降、新しい舗装技術の研究やリサイクルの促進など、その時代の社会の要請に応じた数多くの取り組みを進めてこられました。なかでも、アスファルト合材の品質保証を目的として静岡県とともにクロスチェック制度の創設と推進に早くから取り組まれてきたことは、良質な社会資本形成に大きく寄与したものと深く敬意を表する次第です。

さて、平成26年4月14日の社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会において「道路の老朽化対策の本格実施に関する提言」がとりまとめられるなど、我が国の社会資本の老朽化への対応や維持管理が注目されるようになってきました。インフラがその機能を将来にわたって発揮し続けるためには、メンテナンスサイクルを持続的に回すことが求められています。このため平成26年度より、地方整備局・地方公共団体・高速道路会社等を構成員とした「道路メンテナンス会議」を都道府県毎に設置し、関係機関の連携により効果的な老朽化対策の推進を図ることとされました。今後は、良質な社会資本を形成することとともに、そのストックを健全な状態で使い続ける取り組みも重要視されてくると言えます。

静岡国道事務所では、国道1号静清バイパスの4車線化や国道139号富士改良事業等を進めております。平成26年度末には静清バイパスの鳥坂IC～千代田上土IC間の4車線化と羽鳥・牧ヶ谷ICのフルインター化を完成させることができました。これにより静清バイパスの約9割が4車線となり、地域経済の発展にますます寄与することが期待されます。今後も、「新たな成長戦略」へとつながるインフラの整備とストックの効果的な活用に取り組んで参りますので、関係者の皆様におかれましては事業の推進に御支援いただきますようお願い申し上げます。

結びに、静岡県アスファルト合材協会の今後ますますの御発展と会員の皆様方の一層の御活躍を祈念いたしまして、創立40周年の御祝いとさせていただきます。

静岡県アスファルト合材協会創立40周年に寄せて



静岡県交通基盤部

部 長 野知 泰裕

静岡県アスファルト合材協会が設立40周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

貴協会は、昭和50年の設立以来、舗装性能の向上とアスファルト合材の安定供給に常に御尽力され、県民生活の向上や県勢の発展に大きな役割を果たしてこられたことに改めて感謝申し上げます。

また、合材の品質確保と品質管理技術向上を目的に、全国唯一の取組であるアスファルトプラントの自主品質管理試験（クロスチェック）制度を推進されるとともに、舗装技術研修会の定期的な開催など舗装技術の研鑽を積まれているほか、再生合材や低騒音舗装用合材の供給によるリサイクルの推進や道路環境の改善など、社会経済の発展に伴う多様なニーズに対応した取組を重ねておられることに、深く敬意を表する次第であります。

さて、近年、高度経済成長期に建設された社会資本の多くが更新期を迎えており、限られた予算の中で老朽化対策を進めることが喫緊の課題となっております。

本県におきましても、富国徳の理想郷“ふじのくに”づくりの実現に向けて、効率的な維持管理を行うアセットマネジメントの取組を進めており、道路につきましても、長寿命化を実現するための計画的な修繕に取り組んでいるところであります。

この長寿命化対策の実効性をより高めるためには、民間の技術力、ノウハウ、活力を最大限活用する必要がありますことから、良質な舗装材料の安定供給を担い、新しい舗装技術の開発に取り組む貴協会の役割は大変重要であり、その御活躍を大いに期待しているところであります。

結びに、本県の道路行政の推進にあたり、高度な舗装技術を有する皆様の一層の御支援、御協力をお願い申し上げますとともに、貴協会のますますの御発展と、会員皆様方の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、創立40周年のお祝いの言葉といたします。

静岡県アスファルト合材協会40周年への祝辞



静岡市建設局

局 長 寺田 董

静岡県アスファルト合材協会が創立40周年を迎えられることを、心からお祝い申し上げます。

静岡県アスファルト合材協会の会員の皆様方におかれましては、昭和50年の設立以来長きにわたり、アスファルト合材の品質確保や安定供給に努められ、さらには建設業の発展イメージアップに貢献されておりますことに敬意を表するとともに、日頃より静岡市の建設行政の推進に、格別のご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

また、静岡市における「溶融スラグ入りアスファルト混合物」の製造につきましては、本市の公共工事への利用が標準化するなど、「最終処分場の延命化」や「ごみの減量化」により、「環境負荷の少ない資源循環型社会の形成」及び「天然資源の枯渇抑制」に寄与しております。今後とも安定的な供給を頂けますよう、よろしくお願いいたします。

さて、現在、本市が管理する道路は、国県道から市道まで合わせて約3,200kmとなっております。高度成長期やバブル経済期に集中的に建設された多くの道路は、時代の経過とともに老朽化し、膨大な補修経費が必要となります。そこで本市では、「静岡市土木構造物健全化計画（舗装編）」を策定し、従来の「壊れてから修理する」という考え方から「壊れる前に予防する」という計画的な補修の考え方を取り入れ、長期的な補修費の抑制を目指しております。点検により舗装の状態を把握し、予算的制約の中、最適な施工方法で、より安全で長持ちする道路管理を選定していくものです。この計画の推進にあたりましては、貴協会の知識や経験が必要と考えておりますので、今後とも、ご指導や情報交換にご協力を頂きますようお願い申し上げます。

結びに、静岡県アスファルト合材協会のますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝ご繁栄を心からお祈りいたしまして挨拶とさせていただきます。

静岡県アスファルト合材協会創立40周年に寄せて



浜松市財務部技術監理課

課 長 高橋 洋

静岡県アスファルト合材協会が創立40周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。おめでとうございます。

貴協会におかれましては、昭和50年の設立から現在まで、アスファルト舗装に関する施工技術の調査研究や舗装発生材の再生利用の実用化と普及に取り組み、資源循環型社会の構築や環境に配慮した取り組みなどにより、関連業界の発展はもとより県民生活の向上に大きな実績を挙げてまいりました。

これもひとえに、協会員の皆様方の日々のご努力の賜物であり、心から敬意を表わすとともに感謝いたします。

さて、近年の業界を取り巻く環境は厳しく、技能労働者不足から賃金水準の引き上げや社会保険への加入徹底などの取り組みにより、担い手の確保などが大きな課題となっています。このような中で、インフラ長寿命化計画、国土強靱化基本法、公共工事の品質確保の促進に関する法律（品確法）の改正などの成立・施行による大きな波が押し寄せていると言っても過言ではありません。

浜松市におきましても、道路などの施設の老朽化が進む中”新しく造ること”から”賢く使うこと”への重点化が課題となっており、現在、インフラ長寿命化基本計画に基づく行動計画への対応のため、インフラマネジメントが進行中でございます。道路につきましても、橋梁等の点検や舗装の長寿命化計画などの維持修繕に力を入れて進めているところでございます。

また、品確法の改正により品質の確保のために、今後、発注者としての技術力を高めていく努力が必要とされ、貴協会のご協力により実施しておりますアスファルト合材プラント研修をはじめとします職員の技術研修の一層の充実を図っていく必要があると考えております。

今後とも、浜松市の事業の推進にご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げますとともに、貴協会のますますのご発展と協会員の皆様方の一層のご活躍とご健勝を祈念しまして、創立40周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

静岡県アスファルト合材協会40周年 祝辞



一般社団法人 静岡県建設業協会

会 長 木内 藤男

静岡県アスファルト合材協会が、本年で創立40周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴協会が創立されました昭和50年は、高度成長が一段落し、第1次オイルショック後の激動期にありました。アスファルト合材製造に係る37社が集結して発足、以来、道路舗装協会・砕石業協同組合と密接な連携を取りながら技術の研鑽を図るとともに、技術者のレベル向上に努められ今日の地位を確立されましたことに改めて敬意を表します。

近年、アベノミクス効果、オリンピックの東京開催決定や国土強靱化などの推進により、穏やかに景気は回復しつつあります。

建設産業界におきましても、長年の公共投資の削減傾向によりやむを得ず歯止めがかかり、明るい兆しが見え始めてきましたが、貴協会ではこれまでも様々な事業に積極的に取り組まれ、中・長期に向けた諸施策の活発な活動を展開してこられました。

毎年、アスファルト混合物の製造に関する資料の取りまとめや、諸材料の動向等を調査し、会員に的確な情報の提供に努められるとともに、アスファルト混合物の自主管理試験立会制度（クロスチェック制度）の充実、骨材管理の強化や品質管理技術の向上に努められ、また、研究会や技術交流会の開催など、官公庁や関係団体との連携の強化も図られております。

こうした取り組みのほか、環境保全のため積極的にリサイクルを推進し、省資源・環境対策にも貢献されておられます。

道路は、社会経済活動、国民生活の基盤を支えるインフラ資産であり、貴協会が果たす役割は極めて重要なものがあります。静岡県内の道路の実延長は約37,000km、舗装率は85.2%でいずれも全国上位となっておりますが、これも貴協会会員の供給体制、技術力によるものです。

静岡県建設業協会といたしましては、今後とも貴協会や関係団体と一丸となって、ニーズの多様化、高度化への要請に対して技術情報の共有化を図って参りますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、静岡県アスファルト合材協会のますますのご発展と、会員の皆様の一層のご活躍を祈念して、創立40周年の祝辞といたします。

静岡県アスファルト合材協会創立40周年記念祝辞



一般社団法人 日本アスファルト合材協会

会 長 磯 昭 男

この度、静岡県アスファルト合材協会が創立40周年を迎えられましたこと、日本アスファルト合材協会を代表しまして、心よりお祝いを申し上げます。

この40年間、歴代の会長様をはじめ会員各社の皆様方の弛まぬ努力に対し深い敬意を表しますとともに、日頃より日合協の活動に多大なるご支援、ご尽力を賜わっておりますこと、厚く御礼を申し上げます。

貴協会には、昭和51年に日合協の前身である日本アスファルト合材協会連合会（日合連）に加入していただき、アスファルト合材業界ならびに関連産業の健全な発展のため、長きに亘り歩みを共にして頂いております。

近年、地震や集中豪雨などの自然災害が発生し、多くの尊い人命や貴重な財産が失われました。日本国内では未だ脆弱な社会基盤が各地で露見しており、災害に強い国づくりの重要性が再認識されております。

このような多難な時代において、私たち協会員は、地域における基幹産業として、社会資本整備推進の一翼を担うとともに、災害時の緊急活動や雇用創出など地域社会に貢献しております。

建設業界では、将来の担い手不足がこれからの社会資本整備や維持管理、災害発生時の緊急対応への支障に繋がりがかねないと懸念されております。私たちの業界が社会から正しい理解を得られるよう、社会貢献活動・イメージアップ活動を連携して推進し、若い人たちが夢を持って将来を託せる魅力ある産業にしていくことが、今、私たちに求められていることだと考えます。

長い間、下降線を辿っていた合材製造数量も、政府による数次の政策により歯止めがかかりつつあります。景気は緩やかな回復基調が続いているとはいえ、我々の業界を取り巻く環境は、原材料費の値上げやダンプトラック不足による運搬費の高騰、中東情勢の悪化による原油価格への悪影響などが懸念され、厳しい経営環境はこれから先も覚悟が必要です。ですが私たちの業界は、幾度となくこのような苦難を乗り越えてきましたし、これからも発展を続けていかなければなりません。そのために、協会の果たす役割は今後、益々重要となってきます。

貴協会におかれては、各支部活動ならびに技術委員会や資料調査委員会等を通じ、アスファルト混合物の安定供給、品質管理、そして安全操業に積極的に取り組んでいただいております。今後も、会員各社・地域社会からの要請に応えるべく、信頼の絆をより深め、貴協会にご活躍いただくことをご期待申し上げます。

また、日合協も引き続き貴協会とともに、より充実した協会運営を目指していく所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、静岡県アスファルト合材協会のさらなるご発展と加盟各社の皆様方の益々のご多幸、ご健勝を心より祈念いたしまして、40周年の祝辞とさせていただきます。

祝 辞



静岡県道路舗装協会

会 長 竹村 亨

静岡県アスファルト合材協会が創立40周年の節目を迎えるにあたり、心よりお慶び申し上げます。

特に、貴協会の皆様には平素から当舗装協会が施工いたします県内各地域の舗装工事におきまして、高度な品質管理のもと良質なアスファルト合材・再生路盤材等を安定的に供給いただき、また同時に日常の業務と合わせましてクロスチェックの実施やコスト面での対応等様々な活動を通して、当舗装協会をお支えいただいておりますことに対しまして改めて敬意と感謝を申し上げます。

私ども舗装協会の会員は日頃ユーザーの立場ではありますが、実際は多くが合材協会の会員でもあります。貴協会が発足いたしましたのは今を遡ること40年前、当時は交通量が飛躍的に増大し、それに伴ってアスファルト合材プラントの大型化も進み、公害問題をはじめ品質、供給の安定確保といった問題が顕在化するなかで道路舗装システムとして新しい観点からの高い技術性や専門性が求められた、そんな時代背景でありました。爾来今日まで様々な試練を乗り越えられアスファルト合材に関する製造技術は言うに及ばず、各種調査や研究など一貫した活動を通して県内における道路舗装整備に大きな貢献をされました。そして迎えた現在は国・地方とも厳しい財政状況下にあって、少子高齢化やグローバル化の一層の発展によりまして社会環境は大きく変わりつつあります。特に道路舗装においては長寿命化の対応や環境保全、またそれを担う技術・技能者の伝承など課題山積であります。

しかし、いずれの問題においても一企業や個々の団体の自助努力だけで解決していくには限界があります。そういった意味におきまして、今後とも砕石業協同組合も含めた舗装3団体による活動、連携を一層強化して今後の課題に取り組んでまいりたいと思います。

静岡県アスファルト合材協会の皆様には変わらぬご支援、ご協力をお願いするとともに、会員の皆様が一層の団結を図られて活動成果の実を上げられ、ご発展されますことをご祈念申し上げます。お祝いのご挨拶と致します。

祝 辞



静岡県砕石業協同組合

理事長 井上 光由

静岡県アスファルト合材協会が、本年創立40周年を迎えられましたこと組合員を代表して心からお慶び申し上げます。

この10年を顧みますと、経済はバブルの崩壊に続き2008年のリーマンショックと更なる市況の悪化を招き、政治では政権交代と様々な困難に直面する厳しい事業環境において、貴協会におかれましては静岡空港・新東名そしてそれに関わる付帯工事に代表されるように県土のインフラ整備に尽くされ、社会の要請に応えられた功績は多大で深甚なる敬意を表する次第であります。

これらの成果は偏に貴協会のご尽力と協会員の皆様の弛まぬご努力の賜にほかならないものと拝察申し上げます。

その様な中で、2005年12月に県道路保全室（当時）のご指導・ご協力により『より良い道路の建設』をキーワードとして貴協会、静岡県道路舗装協会そして当静岡県砕石業協同組合で構成する「三団体技術者協議会」を立ち上げ、爾後その目標達成に向けて活動を展開して参りましたが、より機能の高い道路の建設を目指して三団体会員の皆様が相互理解を深め、知見の習得と技術の向上を図ることは、県が推進する「道路長寿命化」にも貢献できるもので、三団体の果たす役割は大きいものと確信しております。

近年、廃棄物問題をはじめとする環境保全が強く叫ばれ、様々な素材を利用した舗装材料・合材材料の普及や施工方法の問題に直面するかと思われますが、当組合においても良質な骨材の安定的供給に努めて参る所存でありますので、さらなる研究・研鑽を重ね社会のニーズに応えられることを切に期待を致します。

最後に、まだまだ厳しい社会経済環境ではありますが、今後とも「国土強靱化」に向けて貴協会員相互の結束と組織の充実を図り、貴協会の益々のご発展と協会員の皆様のより一層のご活躍を心から祈念申し上げます。祝辞と致します。

40周年に寄せて



静岡県アスファルト合材協会

名誉会長 岡本 彦一

40周年と聞いてもうそんなにもなるのかな、改めて自分の年も実感しました。振り返ってみると、県ご当局の皆様のご指導、お客様方の変わらぬ信頼とご鞭撻、会員の皆様方のご努力があればこそ、今日まで合材協会が存立し得たのだと思います。

不肖私が協会の役員を長く務めさせて頂けたのも、協会設立当初から、合材に関係していたからだと思っています。

最初にアスファルト舗装工事にかかわったのは、昭和34年の浜松国道板屋町舗装改築工事でした。当時会社では以前から舗装工事も手掛けておりましたが、本格的な舗装は初めてでした。会社では私に舗装経験者2名と、土木技術者2名を配属させてくれました。その前年の相生・天神町工事で同様な工事を池田建設がしており、私は毎日横を通して通勤していましたので、まああんなものだろう、そう難しい仕事でもあるまいと思っていました。ただ路床までの掘削が120cm位あって、池田建設ではブルを使って掘っていましたが、折角掘っても路床はクシャクシャになり、路床を均すのに苦労している様に見えたので、私は当時未だ珍しかったクラムシェルを使って掘りながらバックして掘り、そのために路床の転圧もスムーズに出来、建設省からも褒めの言葉を戴きました。路床入替も終わり路盤工事も済んで、さあ明日からは舗装工事だと思いその旨を監督官に申し出ました。ところが監督官は未だ配合設計書が提出されていないので駄目だと言われました。私も他の職員も配合設計書なんて初めて聞く言葉だし、誰一人見た事も聞いた事も有りません。監督官に聞いても「仕様書に書いてある。」の一点張り、そこで俄勉強ですが、舗装要綱など参考書類を読みあさり、試験器具も皆無で工業試験所で聞き、試験器具も浜松工業高校に不満足ながら有ることを聞き、兎に角全部の器具を借りて来て、全員二晩徹夜して、まがりなりにも紛いものの配合設計書を提出し監督官の承認を得てなんとか工期内に終わることが出来ました。今思い出しても冷や汗ものですが、もう時効も過ぎたと思ってお許し下さい。

その時以来アスファルト工事は、機械設備は勿論、材質管理がどれ程大切かと、自分の会社には勿論、会員の方々にも申し続けて参りました。その結果が今も続けているクロスチェックにも現れていると思っています。

繰り返しになりますが、今日まで合材協会が続けて来られるばかりでなく、基盤が強固に成り得たのは、県ご当局のご支援と指導、ユーザーの皆様方の信頼とご支援、会員各位の弛まぬ努力の結果だと思います。40周年に当たり、最初からの合材協会設立者の一人として、皆様のご精進と繁栄をお願い申し上げます。

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き	舗装に関する技術書等
昭和50年 (1975)	6 10	静岡県アスファルト合材協会設立：初代会長 齋藤恒三郎氏（東海瀝青工業）就任 会員数37 「日合連」入会申し込み 県土木部よりプラントの実態調査依頼あり	アスファルト舗装要綱、簡易舗装要綱(50年版)、混合所便覧発刊
昭和51年 (1976)	12	県土木部に加熱安定処理工法について陳情	県舗装工事標準仕様書改正
昭和52年 (1977)		加熱安定処理工法試験施工実施	
昭和53年 (1978)	 12	砕石協会との懇談会 アスファルト合材の水平積み運動実施	アスファルト舗装要綱第3次版改訂 道路維持修繕要綱発刊
昭和54年 (1979)	4	アスファルト合材の積算方法が、積み上げ方式から生アス方式に変更となる 第2次石油ショック（イラン問題）油類値上がり	簡易舗装要綱54年版、県舗装工事標準仕様書改正
昭和55年 (1980)	5	二代会長 平松金一氏（東海瀝青工業・花菱合成）就任	セメントコンクリート舗装要綱55年版
昭和56年 (1981)	1	アスファルト廃材のリサイクルについての研究 煤塵の排出基準強化される	
昭和57年 (1982)	8 12	建設資材問題研究会にて資材の調査研究 都市型災害（騒音・振動）防止調査（東・中・西部）	
昭和58年 (1983)	1	静岡県建設関連団体暴力追放連絡協議会設立大会参加	舗装廃材再生利用技術指針(案)発刊
昭和59年 (1984)	9 3	日合連再生合材委員会（再生問題について議論） 県設計検査課、道路維持課との技術懇談会	セメントコンクリート舗装要綱改訂版
昭和60年 (1985)	7 3	(社)日本アスファルト合材協会設立 静岡県アスファルト合材協会参加 リサイクル部会技術委員会	
昭和61年 (1986)	4	加熱アスファルト合材の取り扱い基準の説明会 (県設計検査課、道路維持課)	
昭和62年 (1987)	3	日合協独禁法の研究会（千石弁護士、西村弁護士） 合材協会リサイクル部会開催	路上再生路盤工法技術指針(案)発刊
昭和63年 (1988)	11 1	技術委員会、リサイクル部会合同会議 県設計検査課、道路維持課とのプラント設備に関する懇談会	路上表層再生工法技術指針(案)発刊 舗装試験法便覧発刊

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き	舗装に関する技術書等
平成元年 (1989)	6	県設計検査課・道路維持課とアスファルト混合物の試験の扱いについての懇談会	
	2	県道路維持課と再生合材使用地域についての懇談会	
平成2年 (1990)	9	県道路維持課との再生合材他についての技術懇談会	
平成3年 (1991)	6	日合協舗装廃材再生利用技術指針改訂についての懇談会（建設省）	
	9	県設計検査課、道路維持課との技術懇談会（アスファルト舗装廃材の不法投棄対策、再生合材の試験練り、ホイルトラッキング試験について）	
平成4年 (1992)	8	県設計検査課、道路維持課との技術懇談会（再生クラッシャーランの使用について）	アスファルト舗装要綱全面改訂 プラント再生舗装技術指針発刊
	11	ホイルトラッキング試験講習会	
平成5年 (1993)	5～6	プラント検査講習会（東部・中部・西部）	
	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路維持課、設計検査課、検査監）	
	8	県設計検査課、道路維持課との技術懇談会（間接加熱方式の再生アスファルトプラントについて他）	
	10	技術研修会開催（県道路維持課：近松舗装係長、日本舗道：羽山孝義氏、大有建設：吉兼 亨氏）	
平成6年 (1994)	12	県設計検査課、道路維持課との技術懇談会（改質合材の取り扱いについて他）	
	4	正副会長会議（道路交通法改正について他）	
	5	三代会長 岡本彦一氏（須山建設）就任	
	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路維持課、設計検査課、検査監）	
	10	県設計検査課、道路維持課との技術懇談会（プラント検査の実施状況について他）	
平成7年 (1995)	11	技術委員会現地視察 （千葉県における「事前審査制度」の実施状況）	
	7	日合協東海地区アスファルト混合製造管理者講習会 （於 浜松市）	
	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路維持課、設計検査課、検査監）	
	1	技術委員会（塩素系溶剤の規制について他）	

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き	舗装に関する技術書等
平成 8 年 (1996)	4	平松金一氏（常任相談役、二代会長）勲五等瑞宝章叙勲	アスファルト混合所便覧 改訂版発刊
	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路維持課、設計検査課、検査監）	排水性舗装技術指針（案）発行 舗装試験法便覧別冊（暫定試験方法）発刊
	9	常任幹事、技術委員会（排水性合材に関する問題について他）	
	9	会長、常任幹事、技術委員会（千葉県事前審査制度の視察）	
	1	県設計検査課、道路維持課との技術懇談会（排水性合材の取り扱いについて他）	
平成 9 年 (1997)	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路維持課、設計検査課、検査監）	耐流動アスファルト混合物発刊 （日本道路協会）
	3	県設計検査課、道路維持課との技術懇談会（アスファルト合材の品質管理について他）	
平成10年 (1998)	8	県設計検査課、道路維持課との技術懇談会（アスファルト合材の品質管理について他）	県土木共通仕様書改訂
	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路維持課、設計検査課、検査監）	
	9	クロスチェック試行	
	10	技術委員会（ISO取得アスファルトプラントの見学会 於 松崎町）	
	11	県道路維持課との技術懇談会（クロスチェックについて他）	
	3	県設計検査課、道路維持課との技術懇談会（品質管理と検査について他）	
平成11年 (1999)	5	中間処理工場における産業廃棄物の適正処理についての講習会（講師：日本舗道 藤生晴彦氏）	
	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路維持課、設計検査課、検査監）	
	9	第1回クロスチェック施行	
	10	技術委員会（クロスチェックまとめについて他）	
平成12年 (2000)	6	第1回日合協東海地区技術委員長会議開催（各県における技術の諸問題について）於 岐阜県下呂町	建設省土木工事共通仕様書改訂 環境型社会形成推進基本法制定
	7	県道路保全室との技術懇談会（アスファルト合材の品質管理について）	
	7～9	プラント定期点検立会い検査（県道路保全室、技術指	

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き	舗装に関する技術書等
平成12年 (2000)		導室、検査監)	
	9	第2回クロスチェック施行	
	11	環境問題に関する講演会(講師:富士常葉大学 松田美夜子氏、県廃棄物対策室 曾我俊幸氏)	
	2	県道路保全室との技術懇談会(県、国土交通省の仕様書について)	
平成13年 (2001)	4	環境研修会「中間処理場における産業廃棄物の適正処理」藤生晴彦氏(日本舗道)62名参加	「舗装の構造に関する技術基準」施行
	5	第2回日合協東海地区技術委員長会議(性能規定について、各県現状報告他)於 浜松市	アスファルト舗装要綱、セメントコンクリート舗装要綱廃止
	5	県道路保全室との意見交換会(プラント管理に関する諸問題について)正副会長、技術委員長、技術委員	舗装施工便覧 発刊
	6	日合協「下請法、独占禁止法、産廃の適正処理についての講習会」於 東京鐵鋼会館	舗装設計施工指針 発刊
	6	県土木職員研修会(アスファルト合材の製造品質管理について他)に講師派遣 東海瀝青工業プラント	
	7	第1回技術委員会(事前審査制度について、クロスチェックについて他)	
	7	事前審査の説明会(国土交通省、県道路保全技術センター、県道路保全室、正副会長、技術委員長、技術委員)	
	7	第2回技術委員会(仕様書改訂について他)	
	7~9	プラント定期点検立会い検査(県道路保全室、技術指導室、検査監)	
	8	第3回技術委員会 (クロスチェックの実施について他)	
	9	第3回クロスチェック施行	
	10	アスファルト混合物自主品質管理委員会開催	
	11	第4回技術委員会・研修会 (クロスチェック総括、プラントの管理運営について他)於下田市	
	1	日合協「職場のメンタルヘルス・自主品質管理」についての講習会 於東京鐵鋼会館	県土木共通仕様書、施工管理基準 全面改訂 H14.3
平成14年 (2002)	4	第1回技術委員会(県の新仕様書について)	
	5	第1回調査委員会(日合協合材工場調査取りまとめ)	
	5	県土木職員研修会(アスファルト合材の製造品質管理	

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き	舗装に関する技術書等
平成14年 (2002)		について他) に講師派遣 於 東海瀝青工業プラント 6 日合協講習会 (製造管理、品質管理と事前審査、等) 6 日合協 合同安全パトロール 6 第2回資料調査委員会 (数量処理法の改善について) 7 県土木との技術懇談会 (新仕様書の実施等について) 正副会長、技術委員長、技術委員 7～9 プラント定期点検立会い検査 (県道路保全室、技術指導室、検査監) 8 技術委員会支部代表者会議 (平成14年支部間クロスチェックの実施について) 9 日合協講習会 (産業廃棄物の実務とQ & A) 9 第3回日合協東海地区技術委員長会議 (各県の現状報告及び諸問題について) 於 蒲郡市 9 第4回クロスチェック施行 10 リデュース・リユース・リサイクル推進功労表彰 11～3 静岡県アスファルト合材協会30周年記念誌編集委員会開催 (平成14年延3回開催) 11 第1回技術委員会 (平成14年クロスチェックの総括について) 11 第5回技術委員会・研修会 (平成14年クロスチェックの結果の検討とまとめについて他) 於南伊豆町 12 静岡土木事務所職員舗装技術研修会に講師派遣 於 東海瀝青工業プラント 12 アスファルト混合物自主品質管理委員会開催	
	3	第3回資料調査委員会	
平成15年 (2003)	4～ 翌3月	静岡県アスファルト合材協会30周年記念誌編集委員会開催 (平成15年延14回開催) 5 第1回調査委員会 (日合協合材工場調査取りまとめ) 5 県土木職員研修会 (アスファルト合材の製造品質管理について他) に講師派遣 於 東海瀝青工業プラント 6 第4回日合協東海地区技術委員長会議 (各県の現状報告及び諸問題について) 於 伊勢市 6 日合協 合同安全パトロール 7 静岡県土木部との技術懇談会 (性能規定発注工事、土木共通仕様書、検査技術基準等について) 7～9 プラント定期点検立会い検査 (県道路保全室、技術指	舗装再生便覧 発刊 (4月1日静岡市と清水市が合併)

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き	舗装に関する技術書等
平成15年 (2003)		導室、検査監)	
	7	県土木部との新仕様書の実施等についての懇談会	
	7	正副会長、技術委員長、技術委員	
	7	第2回資料調査委員会（アスファルト合材資料集計方法の検討について）	
	9	静岡県アスファルト合材協会30周年記念座談会（行政 業界団体長）	
	9	第5回クロスチェック施行	
	11	第1回技術委員会（平成15年クロスチェックの結果に ついて）	
	11	技術研修会（「性能規定工事について」県道路保全室 森田舗装係長・日合協 内山技術総務部会長）	
	11	第5回技術委員会・研修会（平成15年クロスチェック の結果の検討とまとめについて他）於 松崎町	
	12	アスファルト混合物自主品質管理委員会開催 アスファルト廃材ストック量明示方法打合せ会議	
	1	静岡県アスファルト合材協会30周年記念表彰者選定委 員会	
	3	建設廃材（アスガラ）受入れ調査打合せ会議	
	3	再生改質合材技術懇談会（県道路保全室 森田舗装係 長・日合協 内山技術総務部会長）	
	3	「アスファルトプラントの自主品質管理」平成15年 クロスチェック報告冊子刊行	
平成16年 (2004)	4	静岡県アスファルト合材協会30周年記念誌編集委員会 式典打合せ 延3回実施	
	5	資料調査委員会（合材工場の調査表について）	
	6	静岡県アスファルト合材協会設立30周年式典 於 クーボール会館	
	6	県土木職員研修会（アスファルト合材の製造品質管理 について他）に講師派遣 東海瀝青工業プラント	
	7	静岡県土木部との技術懇談会	
	8	技術委員会	
	9	技術委員会	
	9	第1回理事会 ASプラント検査等に係る緊急課題について 技術委員の派遣について	

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き	舗装に関する技術書等
平成16年 (2004)	9	プラント検査費増額について	県土木共通仕様書、施工管理 基準 一部改訂 H17.1
	9	第6回クロスチェック施行	
	11	技術委員会（クロスチェック試験結果取り纏め、全国 技術委員長会議の報告）	
	12	役員会（クロスチェックについて・特別プラント検査 について・特別骨材、施設検査について）	
	12	技術委員長会議	
	2	溶融スラグ入りAS混合物の試作の説明会	
	2	技術委員長会議 決算・予算について	
	3	役員会 決算・予算について	
平成17年 (2005)	3	平成16年度クロスチェック試験の検討結果について	（4月1日静岡市が政令指定都 市に移行） （7月浜松市が12市町村による 合併）
	4	常任幹事、技術委員長合同会議	
	5	技術委員長会議	
	5	資料調査委員会（合材工場の調査表について）	
	6	県土木職員研修会へ講師派遣 （於 総合管理公社用宗研修室）	
	6	通常総会	
	8	静岡県土木部との技術懇談会	
	9	技術委員会	
	9	第7回クロスチェック施行	
	11	技術委員会研修会（骨材実態調査・プラント検査・ク ロスチェック試料採取、工程審査 総括）	
	12	役員会（AS合材を取り巻く環境・クロスチェックの 状況について）	
	3	技術委員長会議 決算・予算について 役員会 決算・予算について	
平成18年 (2006)	4	第1回技術委員会	舗装設計施工指針 平成18年度 版発刊 舗装施工便覧 平成18年度版発 刊
	4	三団体技術者協議会開催	
	4	資料調査委員会（合材工場の調査表について）	
	6	第1回役員及び常任幹事合同会議	
	6	通常総会	
	6	県土木職員研修会へ講師派遣 （於 TOREKI・NIPPO JV）	
	6	三団体技術者協議会交流会（碎石編：東・中・西各支 部で開催）	
	8	県・静岡市・浜松市との技術懇談会	

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き	舗装に関する技術書等
平成18年 (2006)	9	第2回技術委員会	
	10	第8回クロスチェック施行	
	11	技術委員会研修会（プラント検査総括・クロスチェック中間報告・三団体協議会用資料提示）	
	12	第2回役員会	
	12	アスファルト合材自主品質管理委員会開催	
	2、3	常任幹事会	
	3	第3回役員会 決算・予算について	
平成19年 (2007)	4	三団体技術者協議会	(4月浜松市が政令指定都市に移行)
	4	資料調査委員会(合材工場の調査表について)	
	5	第1回常任幹事、各委員連絡協議会	
	4	第1回正副技術委員長会議	
	6	第1回役員及び常任幹事合同会議	
	6	通常総会	
	6	県土木職員研修会へ講師派遣 (於 TOREKI・NIPPO JV) 三団体技術者協議会交流会(合材編:東・中・西各支部で開催)	
	7	第2回正副技術委員長会議 ・三団体技術者協議会交流会を終えて ・東海地区連絡協議会技術委員長会議の提案議題 ・県との技術懇談会 ・ASプラントの定期点検検査 溶融スラグ利用について	
	9	県土木関係職員研修 参加者55名	
	9	第8回日合協東海地区技術委員長会議開催 (於 三重県志摩郡磯辺町)	
	10	第9回クロスチェック施行	
	11	技術委員会研修会(プラント検査総括・クロスチェック中間報告)	
	11	静岡県・静岡市・浜松市との技術懇談会	
	12	第2回役員及び常任幹事合同会議	
	1、3	常任幹事会	
	3	第3回役員会 決算・予算について	
平成20年 (2008)	4	溶融スラグ委員会	舗装性能評価法
	4	三団体技術者協議会	

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き	舗装に関する技術書等
平成20年 (2008)	4	資料調査委員会（合材工場の調査表について）	
	5	第1回技術委員会 平成20年度事業計画	
	5	三団体技術者協議会交流会（舗装編）	
	6	第1回役員会	
	6	通常総会	
	6	県土木職員研修会へ講師派遣 （於 TOREKI・NIPPO JV）	
	6	技術講習会（溶融スラグの現状と今後の課題、・日合協の研究結果、県の道路財源について）	
	8～9	プラント定期点検検査	
	9	第2回溶融スラグ委員会	
	9	第9回日合協東海地区技術委員長会議開催 （於 岐阜県下呂市）	
	10	技術委員会（プラント検査総括、クロスチェックについて）	
	10～12	第10回クロスチェック施行	
	11	技術委員会研修会（プラント検査総括、クロスチェック中間報告）	
	12、2	常任幹事会	
平成21年 (2009)	3	第3回役員会 決算・予算について	コンクリート舗装に関する 技術資料
	4	三団体技術者協議会	
	4	県道路保全室訪問（技術委員会） ・今年度の検査、政令市の対応について	
	4	資料調査委員会（合材工場の調査表について）	
	5	第1回技術委員会 平成21年度事業計画	
	6	第1回役員会	
	6	通常総会	
	6	三団体技術者協議会交流会（砕石編：中部採石工業㈱ 浜北工場・二葉建設㈱東山工場で開催）	
	6	第2回技術委員会	
	6	県土木職員研修会へ講師派遣 （於 TOREKI・NIPPO JV）	
	7	浜松市 溶融スラグ打合せ会	
	7	常任幹事会	
	8	浜松市職員 アスファルト合材研修会 （於 西部合材リサイクルセンター）	

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き	舗装に関する技術書等
平成21年 (2009)	9	第10回日合協東海地区技術委員長会議開催 (於 浜松市)	
	9～11	プラント定期点検検査	
	9	常任幹事会	
	10	第1回溶融スラグ委員会	
	10	静岡市、島田市、浜松市の現状と動向	
	10～11	第11回クロスチェック施行	
	11	技術委員会研修会（プラント検査総括・クロスチェック中間報告）	
	12	自主品質管理委員会開催	
	2	正副技術委員長会議 ・三団体技術者交流会について ・クロスチェック冊子について	
	2、3	常任幹事会	
平成22年 (2010)	3	第3回役員会 決算・予算について	舗装再生便覧 平成22年度版
	4	正副技術委員長会議	
	5	正副技術委員長会議	
	6	第1回役員会	
	6	通常総会	
	6	県土木職員研修会へ講師派遣 (於 TOREKI・NIPPO JV)	
	7	三団体技術者交流会（合材編）於浜松市西部清掃工場 溶融スラグについて講習（参加者180名）	
	8	プラント定期点検検査	
	9	浜松市職員 アスファルト合材研修会 (於 西部合材リサイクルセンター)	
	9	第11回日合協東海地区技術委員長会議開催 (於 愛知県犬山市)	
	10	常任幹事会	
	10～11	第12回クロスチェック施行	
	11	技術委員会研修会（プラント検査総括・クロスチェック中間報告）	
	12	第2回役員会	
	1	資料調査委員会（合材生産報告システムについて）	
	1	自主品質管理委員会開催 (静岡県、静岡市、浜松市、合材協会参加)	

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き	舗装に関する技術書等
平成23年 (2011)	4	第1回正副技術委員長会議	
	4	第1回役員会	
	6	第2回正副技術委員長会議	
	6	県土木職員研修会へ講師派遣 (於 TOREKI・NIPPO JV)	
	6	第2回役員会	
	6	通常総会	
	9	第12回日合協東海地区技術委員長会議開催 (於 三重県志摩郡磯辺町)	
	9～10	プラント定期点検検査実施	
	9	三団体技術者協議会交流会（舗装編：国交省・尾中氏 NPO都市環境研究会・三浦氏による講習会）	
	10	浜松市職員 アスファルト合材研修会 (於 西部合材リサイクルセンター)	
	10	正副技術委員長会議 ・プラント定期点検検査、クロスチェックについて	
	10～12	第13回クロスチェック施工	
	12	技術委員会研修会（プラント検査総括・クロスチェック中間報告）	
	12	第3回役員会	
	1	技術委員会技術研修会 (日合協講師・県保全課 戸塚氏による講習)	
	2	自主品質管理委員会開催	
平成24年 (2012)	4	四代会長 田中 豊氏（丸三工業）就任	4月1日静岡市土木工事共通仕様書制定
	4	三代会長 岡本彦一氏（須山建設）は名誉会長に就任 正副会長・常任幹事会	
	4	第1回正副技術委員長会議 新旧顔合わせ	
	5	第2回正副技術委員長会議	
	5	県土木職員研修会へ講師派遣 (於 TOREKI・NIPPO JV)	
	6	第1回役員会	
	6	通常総会	
	6	三団体技術者協議会交流会（砕石編：伊豆市コマツ テクノセンターで開催）合材協会29名参加	
	7	正副会長・常任幹事会	
	7	正副技術委員長会議	

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き	舗装に関する技術書等
平成24年 (2012)	9	・プラント定期点検検査、クロスチェックについて 第13回日合協東海地区技術委員長会議開催 (於 岐阜県下呂市)	
	9～10	プラント定期点検検査実施	
	10	浜松市職員 アスファルト合材研修会 (於 西部合材リサイクルセンター)	
	10～11	第14回クロスチェック施工	
	11	技術委員会研修会 (プラント検査総括・クロスチェック中間報告)	
	12	第2回役員会	
	1	・自主品質管理委員会開催	
平成25年 (2013)	1	・アスファルト舗装技術研修会開催 (道建協の講師による事前審査制度についての概要説明)	舗装性能評価法 平成25年度版
	4	第1回正副技術委員長会議 ・活動計画、県土木職員研修について	
	4	正副会長・常任幹事会	
	5	第2回正副技術委員長会議	
	5	県土木職員研修会へ講師派遣 (於 TOREKI・NIPPO JV)	
	6	第1回役員会	
	6	通常総会	
	7	静岡県と施工パッケージ型積算導入についての懇談会 三団体技術者協議会交流会 (合材編：日合協・日工協の講師による講習) 参加者174名	
	8	正副会長・常任幹事・技術委員長会議 ・40周年記念事業について	
	8	第3回正副技術委員長会議	
	9	第14回日合協東海地区技術委員長会議開催 (静岡県主催：於 伊豆の国市)	
	9～10	プラント定期点検検査実施	
	11～12	第15回クロスチェック施行	
	12	第2回役員会	
	1	第4回正副技術委員長会議	
	2	自主品質管理委員会開催	
	3	正副会長・常任幹事・技術委員長会議	

静岡県アスファルト合材年表

年 度	月	静岡県アスファルト合材協会の動き	舗装に関する技術書等
平成26年 (2014)	4	第1回正副技術委員長会議 ・活動計画、県土木職員研修について 他	
	5	県土木職員研修会へ講師派遣 (於 TOREKI・NIPPO JV)	
	6	第1回役員会	
	6	通常総会	
	7	日合協安全パトロール実施 ・西部合材、浜松中央アスコン前田工場の2工場	
	8	福用産業(株)倒産に関しての打合せ ・関係合材工場間での意見調整 ・県道路保全課を交えての善後策の検討	
	9	第15回日合協東海地区技術委員長会議開催 (於 愛知県犬山市)	
	9～10	プラント定期点検検査実施	
	10	三団体技術者協議会交流会(舗装編:新東名新城工区の見学) 合材協会22名参加	
	11	浜松市職員 アスファルト合材研修会 (於 西部合材リサイクルセンター)	
	11～12	第16回クロスチェック施行	
	1	・自主品質管理委員会開催	
	1	・アスファルト舗装技術研修会開催(日合協の講師によるアスファルト合材工場ガイドブックの解説、品質管理データ処理の統計的手法についての解説)	

役員・委員会代表者の変遷

	昭和50年度 【1975】	昭和51年度 【1976】	昭和52年度 【1977】	昭和53年度 【1978】	昭和54年度 【1979】	昭和55年度 【1980】
相談役						
相談役(常任)						
名誉会長						
会 長	斎藤 恒三郎 東海瀝青工業(株)					平松 金一 東海瀝青工業(株)
副会長	七澤 三郎 昭和舗道(株)					
"	中村 進 (株)中村組					
"						
理 事	海野 久夫 海野建設(株)					池ヶ谷 康二 菅原建設(株)
"	中村 国政 富士道路(株)					
"	神谷 朗男 日本舗道(株)					
"	生子 力蔵 静和工業(株)			秋山 敏夫 静和工業(株)		
"	北澤 栄一 花菱合成(株)			宮城島 光二 花菱合成(株)		
"	岡本 彦一 須山建設(株)					
"	神谷 孝一 神谷建設(株)					
"	小栗 正木 中村建設(株)					
"				大石 竹次 大石建設(株)		大石 庄十 大石建設(株)
"						
"						
会計監事	笠原 静夫 山旺建設工業(株)					
"	桑原 忠雄 大河原舗装(株)					大河原 有三 大河原舗装(株)
"	伴治 貞 協和建設協業組合					
幹 事 長	平松 金一 東海瀝青工業(株)					
常任幹事	田代 豊 富士道路(株)					
"	池田 等 (株)中村組					岩本 栄久 協和建設協業組合
"						吉野 六郎 東海瀝青工業(株)
副常任幹事				吉野 六郎 東海瀝青工業(株)		

役員・委員会代表者の変遷

昭和56年度 【1981】	昭和57年度 【1982】	昭和58年度 【1983】	昭和59年度 【1984】	昭和60年度 【1985】	昭和61年度 【1986】	
						相談役
						相談役(常任)
						名誉会長
					平松 金一 花菱合成㈱	会 長
						副会長
						〃
					大滝 輔一 東海瀝青工業㈱	〃
						理 事
					保坂 務 富士道路㈱	〃
		市村 敏行 日本舗道㈱				〃
		生子 隆則 静和工業㈱				〃
						〃
						〃
					神谷 勲雄 神谷建設㈱	〃
宗賀 元春 中村建設㈱						〃
						〃
						〃
						〃
		後藤 安宏 山旺建設工業㈱				会計監事
						〃
			久米 俊明 協和建設協業組合			〃
						幹 事 長
			杉山 昭五 東静加工品㈱	佐藤 裕司 山旺建設工業㈱		常任幹事
						〃
			山田 騏三郎 東海瀝青工業㈱			〃
						副常任幹事

役員・委員会代表者の変遷

	昭和62年度 【1987】	昭和63年度 【1988】	平成元年度 【1989】	平成2年度 【1990】	平成3年度 【1991】	平成4年度 【1992】
相談役						中村 進 （株）中村組
相談役（常任）						
名誉会長						
会 長	平松 金一 花菱合成（株）					
副会長	保坂 務 富士道路（株）			後藤 安宏 山旺建設工業（株）		
〃	中村 進 （株）中村組					岡本 彦一 須山建設（株）
〃	大滝 輔一 東海瀝青工業（株）				竹田 要 東海瀝青工業（株）	
理 事	池ヶ谷 康二 菅原建設（株）					
〃	七澤 三郎 昭和舗道（株）					
〃	市村 敏行 日本舗道（株）		浅井 治 日本舗道（株）			安田 昌宏 日本舗道（株）
〃	生子 隆則 静和工業（株）					大石 良二 静和工業（株）
〃				石井 利平 富士道路（株）		
〃	岡本 彦一 須山建設（株）					池田 等 （株）中村組
〃	神谷 勲雄 神谷建設（株）					
〃	宗賀 元春 中村建設（株）		竹村 寧 磐田瀝青舗材（共）			
〃	大石 庄十 大石建設（株）					
〃						
〃						
会計監事	後藤 安宏 山旺建設工業（株）			臼井 正信 臼幸産業（株）		海野 裕之 海野建設（株）
〃	大河原 有三 大河原舗装（株）					大河原 元晴 大河原舗装（株）
〃	久米 俊明 協和建設協業組合					
幹 事 長						
常任幹事	佐藤 裕司 山旺建設工業（株）	中村 拓男 山旺建設工業（株）				
〃	岩本 栄久 協和建設協業組合					
〃	山田 麒三郎 東海瀝青工業（株）	大高 圭介 花菱合成（株）				
副常任幹事						
業務委員長						
技術委員長						
資料調査委員長						

業務（総務）委員長・技術委員長（技術顧問）・資料調査委員長の3委員長については、確かな記録の存在する平成5年（1993年）からの記載としました。

役員・委員会代表者の変遷

平成5年度 【1993】	平成6年度 【1994】	平成7年度 【1995】	平成8年度 【1996】	平成9年度 【1997】	平成10年度 【1998】	
						相談役
	← 平松 金一 — →					相談役(常任)
						名誉会長
	×× 岡本 彦一 須山建設㈱					会 長
						副会長
→						〃
		×× 植松 正裕 東海瀝青工業㈱			×× 榎本 富雄 東海瀝青工業㈱	〃
××	海野 裕之 海野建設㈱					理 事
			×× 土屋 義正 昭和舗道㈱			〃
			×× 安原 弘修 日本舗道㈱			〃
			×× 藤浪 準司 静和工業㈱			〃
××	中西 久和 富士道路㈱					〃
	×× 太田 雅章 ㈱中村組					〃
						〃
			×× 鈴木 武志 磐田瀝青舗材(共)			〃
						〃
	← 宮城島 光二 花菱合成㈱					〃
						〃
××	田中 豊 丸三工業㈱					会計監事
					大河原 元晴 ㈱エコワーク →	〃
××	杉浦 勉 協和建設協業組合				×× 岩本 栄久 協和建設協業組合	〃
						幹 事 長
××	植松 政明 昭和舗道㈱					常任幹事
××	水島 義孝 須山建設㈱					〃
						〃
						副常任幹事
平松 金一 花菱合成㈱	×× 岡本 彦一 須山建設㈱					総務委員長
久米 俊明 協和建設協業組合	×× 秋野 正男 大河原舗装㈱	平成7年度は技術 顧問として杉浦氏	×× 杉浦 勉 協和建設協業組合		×× 藤浪 準司 静和工業㈱	技術委員長
中村 拓男 山旺建設工業㈱						資料調査委員長

役員・委員会代表者の変遷

	平成11年度 【1999】	平成12年度 【2000】	平成13年度 【2001】	平成14年度 【2002】	平成15年度 【2003】	平成16年度 【2004】
相談役	中村 進 ㈱中村組					
相談役(常任)						
名誉会長						
会 長	岡本 彦一 須山建設㈱					
副会長	後藤 安宏 山旺建設工業㈱			中西 久知 富士道路㈱		田中 豊 丸三工業㈱
"						
"	榎本 富雄 東海瀝青工業㈱					
理 事	海野 裕之 海野建設㈱					
"	土屋 義正 昭和舗道㈱					
"	安原 弘修 日本舗道㈱			山口 明男 日本舗道㈱	山口 明男 ㈱NIPPO Corp	
"	藤浪 準司 静和工業㈱					
"	中西 久和 富士道路㈱			後藤 安宏 山旺建設工業㈱		
"	太田 雅章 ㈱中村組					
"	神谷 勲雄 神谷建設㈱					神谷 一宏 神谷建設㈱
"	鈴木 武志 磐田瀝青舗材(共)					
"	大石 庄十 大石建設㈱					
"	宮城島 光二 花菱合成㈱	←	花菱建設㈱			北澤 邦彦 花菱建設㈱
"	岡本 達二 西部合材RC㈱					
会計監事	田中 豊 丸三工業㈱				佐藤 裕司 山旺建設工業㈱	
"	内田 弘 ㈱エコワーク					
"	岩本 栄久 協和建設協業組合					
幹 事 長						
常任幹事	植松 政明 昭和舗道㈱		日比 秀次 昭和舗道㈱			
"	水島 義孝 須山建設㈱			鈴木 正志 西部合材RC㈱		
"	大高 圭介 花菱合成㈱	←	花菱建設㈱			
副常任幹事						
総務委員長	岡本 彦一 須山建設㈱					
技術委員長	藤浪 準司 静和工業㈱					
資料調査委員長	渡邊 拓男 山旺建設工業㈱			山梨 寛司 セイエン商事㈱	松本 富男 (共)志太アスコン	田中 豊 丸三工業㈱

役員・委員会代表者の変遷

平成17年度 【2005】	平成18年度 【2006】	平成19年度 【2007】	平成20年度 【2008】	平成21年度 【2009】	平成22年度 【2010】	
						相談役
						相談役(常任)
						名誉会長
						会 長
						副会長
						〃
	萩原 吉朗 東海瀝青工業㈱		望月 悠治 東海瀝青工業㈱			〃
						理 事
						〃
		藤田 昌弘 ㈱NIPPO. Corp		藤田 昌弘 ㈱NIPPO		〃
			田村 幸一 静和工業㈱			〃
						〃
		中村 早千夫 ㈱中村組				〃
						〃
						〃
大石 邦吉 大石建設㈱						〃
						〃
						〃
						会計監事
						〃
						〃
						幹 事 長
						常任幹事
						〃
平成17年度より 常任幹事長						常任幹事長
						副常任幹事
						総務委員長
	飯田 雅和 山旺建設工業㈱					技術委員長
						資料調査委員長

役員・委員会代表者の変遷

	平成23年度 【2011】	平成24年度 【2012】	平成25年度 【2013】	平成26年度 【2014】	
相談役					
相談役(常任)					
名誉会長		岡本 彦一 須山建設㈱			
会 長	岡本 彦一 須山建設㈱	田中 豊 丸三工業㈱			
副会長	田中 豊 丸三工業㈱	須山 宏造 須山建設㈱			
〃					
〃	望月 悠治 東海瀝青工業㈱			植松 盛雄 東海瀝青工業㈱	
理 事	海野 裕之 海野建設㈱	佐藤 裕司 山旺建設工業㈱			
〃					
〃	北浦 喜一 ㈱NIPPO		米岡 拓彦 ㈱NIPPO		
〃	田村 幸一 静和工業㈱				
〃					
〃	中村早千夫 ㈱中村組		小粥 孝政 ㈱中村組		
〃	神谷 一宏 神谷建設㈱				
〃	鈴木 武志 磐田瀝青舗材(共)		松下 行雄 磐田瀝青舗材(事)		
〃	大石 卯吉 大石建設㈱				
〃					
〃					
会計監事	佐藤 裕司 山旺建設工業㈱	海野 祐一 海野建設㈱			
〃	内田 弘 ㈱エコワーク				
〃	岩本 栄久 協和建設協業組合				
幹 事 長					
常任幹事	日比 秀次 昭和舗道㈱			大高 圭介 花菱建設㈱	(中部支部と兼任)
〃	鈴木 正志 西部合材RC㈱				
常任幹事長	大高 圭介 花菱建設㈱				
副常任幹事					
総務委員長	岡本 彦一 須山建設㈱	田中 豊 丸三工業㈱			
技術委員長	飯田 雅和 山旺建設工業㈱	加茂 研司 ㈱中村組			
資料調査委員長	田中 豊 丸三工業㈱	松本 富男 (共)志太アスコン			

静岡県アスファルト合材協会会員名簿
東部支部

平成26年12月現在

会 員 名	会社代表者		協会代表者	住 所
	役 名	氏 名		電話番号 ・ F A X 番号
丸三工業(株)	代表取締役 社 長	田中 豊	田中 豊	〒 415-0028 下田市吉佐美1018-1
				0558-23-0303 ・ 0558-23-5533
花菱建設(株)	代表取締役 社 長	北澤 邦彦	大高 圭介	〒 420-0847 静岡市葵区西千代田町5番18号
				054-245-3366 ・ 054-245-3442
(株)海野建設	代表取締役	海野 祐一	海野 祐一	〒 414-0006 伊東市松原669番地
				0557-37-4050 ・ 0557-37-4087
菅原建設(株) 静岡営業所	代表取締役 社 長	下田 德行	前田 三四志	〒 414-0001 伊東市宇佐美420-2
				0557-47-3344 ・ 0557-47-3354
昭和舗道(株)	代表取締役	田中 登	田中 登	〒 410-2321 伊豆の国市三福字岩下396-1
				0558-76-1663 ・ 0558-76-0039
山旺建設工業(株)	代表取締役	佐藤 裕司	佐藤 裕司	〒 410-0302 沼津市東椎路34番地
				055-973-1055 ・ 055-973-1057
臼幸産業(株)	代表取締役	臼井 良太	臼井 達也	〒 410-1304 駿東郡小山町藤曲109-1
				0550-76-1200 ・ 0550-76-4923
大有建設(株)	執行役員 製品販売 事業本部長	白濱 弥	長谷川 佳正	〒 410-1125 裾野市富沢字向田235
				055-992-3563 ・ 055-993-6566
(株)NIPPPO 静岡統括事業所	所 長	米岡 拓彦	米岡 拓彦	〒 422-8004 静岡市駿河区国吉田2丁目1番3号
				054-261-6278 ・ 054-261-6280
日本道路(株) 中部支店	執行役員 支店長	寺林 裕二	棚橋 弘	〒 460-0017 名古屋市中区松原3-15-19
				052-331-5241 ・ 052-331-5246
前田道路(株)	取締役常務 執行役員 中部支店長	藤原 幸夫	河野 司	〒 410-1125 裾野市富沢字向田235
				055-992-3563 ・ 055-993-6566

静岡県アスファルト合材協会会員名簿
中部支部

平成26年12月現在

会 員 名	会社代表者		協会代表者	住 所
	役 名	氏 名		電話番号 ・ F A X 番号
大石建設(株)	代表取締役 社 長	大石 卯吉	大石 卯吉	〒 421-0305 榛原郡吉田町大幡2130番地
				0548-32-0415 ・ 0548-32-7766
大林道路(株) 中部支店	常務執行役 員支店長	斉藤 克巳	田中 浩二	〒 420-0955 静岡市葵区芝原21-21
				054-247-3667 ・ 054-247-3263
(株)エコワーク	代表取締役 社 長	大河原 高広	山田 稔弥	〒 427-0047 島田市中溝町1703
				0547-45-2141 ・ 0547-45-2407
神谷建設(株)	代表取締役	神谷 一宏	神谷 一宏	〒 432-8023 浜松市中区鴨江2丁目35番24号
				053-454-4336 ・ 053-452-5634
木内建設(株)	代表取締役 社 長	木内 藤男	松本 富男	〒 426-0022 藤枝市稲川852
				054-645-3748 ・ 054-643-7604
三井住友建設(株) 静岡支店	支 店 長	平松 義康	岩崎 充雄	〒 420-0837 静岡市葵区日出町 1番地の2 静岡住友ビル5階
				054-266-7105 ・ 054-251-3330
静和工業(株)	代表取締役	田村 幸一	田村 幸一	〒 422-8066 静岡市駿河区泉町3番15号
				054-285-7141 ・ 054-284-6557
TOREKI・NIPPO JV	代 表	植松 盛雄	植松 盛雄	〒 421-0117 静岡市駿河区下川原南1番1号
				054-259-9564 ・ 054-257-3841
花菱建設(株)	代表取締役 社 長	北澤 邦彦	大高 圭介	〒 420-0847 静岡市葵区西千代田町5番18号
				054-245-3366 ・ 054-245-3442
前田道路(株)	取締役常務 執行役員 中部支店長	藤原 幸夫	加藤 賢治	〒 421-1131 藤枝市岡部町内谷藤太丸784-2
				054-667-1844 ・ 054-667-1115
鹿島道路(株) 中部支店	執行役員 支店長	川端 清太	萩森 寛二	〒 428-0006 島田市牛尾867-1
				0547-46-2911 ・ 0547-46-3181

静岡県アスファルト合材協会会員名簿
西部支部

平成26年12月現在

会 員 名	会社代表者		協会代表者	住 所	
	役 名	氏 名		電話番号	FAX番号
(株)中村組	取締役社長	中村 嘉宏	小粥 孝政	〒 430-0906 浜松市中区住吉五丁目22番1号 053-412-1122 ・ 053-412-1135	
協和建設 協業組合	理事長	山下 健介	岩本 栄久	〒 431-1304 浜松市北区細江町中川847番地の5 053-522-0804 ・ 053-522-0766	
大成ロテック(株) 中部支社	執行役員 支社長	松山 英吉	松山 英吉	〒 460-0008 名古屋市港区九番町4丁目1番地の5 052-661-6951 ・ 052-651-1955	
(株)NIPPPO 静岡統括事業所	所 長	米岡 拓彦	米岡 拓彦	〒 422-8004 静岡市駿河区国吉田2丁目1番3号 054-261-6278 ・ 054-261-6280	
神谷建設(株)	代表取締役	神谷 一宏	神谷 一宏	〒 432-8023 浜松市中区鴨江2丁目35番24号 053-454-4336 ・ 053-452-5634	
乗松建設(株)	代表取締役 社 長	乗松 千代子	市川 勇一郎	〒 438-0113 磐田市新開440 0539-62-2020 ・ 0539-62-4441	
西遠アスコン 共同企業体	大林道路(株) 常務執行役員 中部支店長	斉藤 克巳	斉藤 克巳	〒 431-2102 浜松市北区都田町8546-5 053-428-3808 ・ 053-428-3809	
磐田瀝青舗材 事業所 (イワレキ)	常勤顧問	松下 行雄	松下 行雄	〒 438-0016 磐田市岩井1907-204 0538-35-6031 ・ 0538-35-3389	
須山建設(株)	取締役社長	須山 宏造	金原 秀明	〒 432-8012 浜松市中区布橋2丁目6番1号 053-471-3161 ・ 053-471-9235	
前田道路(株)	取締役常務 執行役員 中部支店長	藤原 幸夫	岩崎 誠示	〒 431-3103 浜松市東区常光町814 053-434-4986 ・ 053-434-5007	
浜岡アスコン 共同企業体	(株)佐藤渡辺 常務執行役員 中日本支店長	中江 重夫	足立 哲也	〒 437-1602 御前崎市比木2038-1 0537-85-3393 ・ 0537-85-4627	
天竜川砂利 プラント(株)アスファルト 合材工場	代表理事	鈴木 英樹	伊藤 実	〒 434-0022 浜松市浜北区新堀1-1 053-586-3251 ・ 053-586-3894	
西遠コンクリート 工業(株)	代表取締役 社 長	藤原 隆夫	渥美 正行	〒 432-8064 浜松市南区倉松町4048番地 053-447-1489 ・ 053-448-8484	
西部合材サイクル センター協同組合	理事長	須山 宏造	鈴木 正志	〒 431-1111 浜松市西区伊左地町1511-2 053-484-3820 ・ 053-484-3821	
共同企業体 掛川アスコン	取締役常務 執行役員 中部支店長	藤原 幸夫	岩崎 誠示	〒 436-0012 掛川市上内田字五百済2441-1 0537-62-1511 ・ 0537-62-1577	

静岡県アスファルト合材協会会員名簿
特別会員

平成26年12月現在

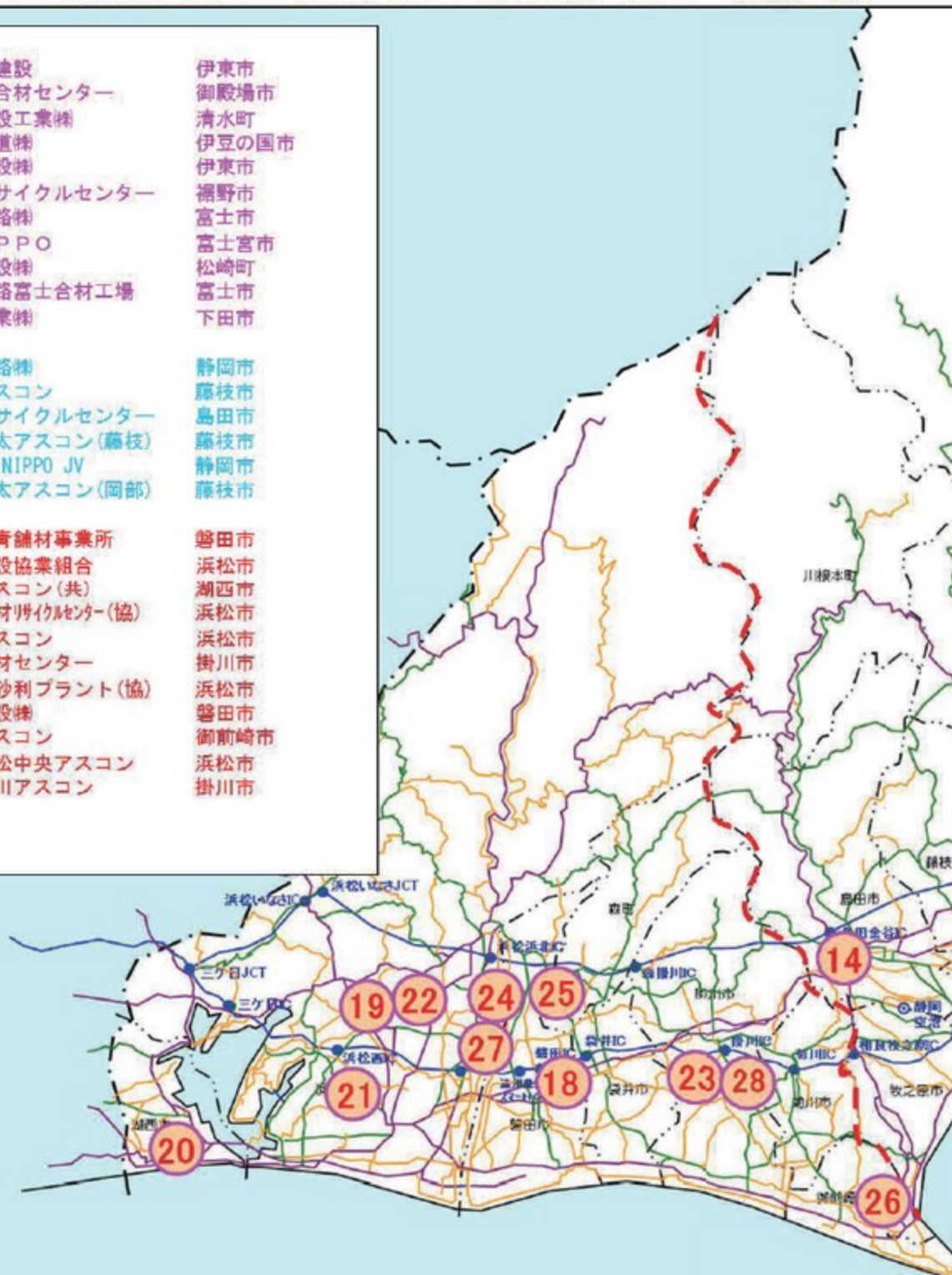
会 員 名	会社代表者		住 所	
	役 名	氏 名	電話番号	F A X 番号
三徳商事(株)	代表取締役 社 長	廣瀬 泰正	〒 464-0850 名古屋市千種区今池5丁目1の5 名古屋センタープラザビル 6F	
			052-745-8701	052-745-8702

加盟アスファルトプラント紹介

静岡県内アスファルトプラント配置図

【道路種別】 高速道路（青）、一般国道（紫）、主要地方道（緑）、一般県道（橙）

- | | |
|---------------------|-------|
| 1 株式会社海野建設 | 伊東市 |
| 2 御殿場合材センター | 御殿場市 |
| 3 山旺建設工業株式会社 | 清水町 |
| 4 昭和舗道株式会社 | 伊豆の国市 |
| 5 菅原建設株式会社 | 伊東市 |
| 6 東部リサイクルセンター | 裾野市 |
| 7 日本道路株式会社 | 富士市 |
| 8 株式会社NIPPO | 富士宮市 |
| 9 花菱建設株式会社 | 松崎町 |
| 10 前田道路富士合材工場 | 富士市 |
| 11 丸三工業株式会社 | 下田市 |
| | |
| 12 大林道路株式会社 | 静岡市 |
| 13 静岡アスコン | 藤枝市 |
| 14 静岡リサイクルセンター | 島田市 |
| 15 (共) 志太アスコン(藤枝) | 藤枝市 |
| 16 TOREKI-NIPPO JV | 静岡市 |
| 17 (共) 志太アスコン(岡部) | 藤枝市 |
| | |
| 18 磐田歴史舗材事業所 | 磐田市 |
| 19 協和建設協業組合 | 浜松市 |
| 20 湖西アスコン(共) | 湖西市 |
| 21 西部合材リサイクルセンター(協) | 浜松市 |
| 22 西遠アスコン | 浜松市 |
| 23 中遠合材センター | 掛川市 |
| 24 天竜川砂利プラント(協) | 浜松市 |
| 25 桑松建設株式会社 | 磐田市 |
| 26 浜岡アスコン | 御前崎市 |
| 27 (共) 浜松中央アスコン | 浜松市 |
| 28 (共) 掛川アスコン | 掛川市 |



平成27年2月下旬より当協会のホームページがリニューアルされました。

<http://www.shizuoka-as.net> よりトップページ開き、「加盟プラント」のページに飛んでいただくと、より詳細な各プラントの情報がご覧いただけます。



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 1

東部 支部

H26. 10. 31 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	株式会社 海野建設
プラント所在地	〒 414-0053 静岡県伊東市荻 6 4 9
電話番号・FAX番号	TEL: 0557-45-0662 FAX: 0557-45-2449
メールアドレス	unno-murakami@marble.ocn.ne.jp

・アスファルトプラント設備概要

製造会社: 田中鉄工株式会社	型式番号: TSAP-600-FAV
公称能力: 新規 36 t/h	再生 — t/h 再生骨材加熱方式: —

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否: 否	受入れ品目: ———
最大保管容量: — m ³	処理能力: — t/日

・アスファルトプラント沿革

昭和38年2月	株式会社 海野建設 創業
昭和55年7月	アスファルトプラント操業開始

・工場責任者よりひと言 (工場長: 村上克也)

私が、アスファルト合材の製造に携わる業務に就きましてちょうど10年となります。最初は、アスファルト合材の事はまったく知識がありませんでした。当時、合材協会より特別に勉強会を開いていただき、配合設計から品質管理等すべて教えていただくことが出来ました。また、クロスチェック等を通じ作業標準、設備の管理等のご指導も頂き、会社としても私自身もレベルアップにつながったと実感しております。 私ども当工場は常時2名体制と少ない人員でやっておりますが、アスファルト合材製造の技術と品質の向上をはかり、アスファルト合材協会の発展のため努力を続けていきたいと考えております。
--

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 2

東部 支部

H26.11.11 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	(株)NIPPPO・臼幸産業(株) 御殿場合材センター 株式会社NIPPPO 臼幸産業株式会社
プラント所在地	〒412-0047 静岡県御殿場市神場3丁目20番地
電話番号・FAX番号	TEL: 0550-88-0333 FAX: 0550-88-0500
メールアドレス	gotenba_fa@nippo-c.jp

・アスファルトプラント設備概要

製造会社：株式会社新潟鐵工所	型式番号：NP-1500C
公称能力：新規 120 t/h ・ 再生 120 t/h	再生骨材加熱方式：併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否：可(中間処理)	受入れ品目：アスガラ・コンガラ
最大保管容量：6115 m ³	処理能力：800 t/日

・アスファルトプラント沿革

平成9年7月：御殿場市神場南企業団地に、日本舗道(株)と臼幸産業(株)にて御殿場合材センターとして操業開始 製造能力 新材90 t/h 再生材120 t/h (アスファルト混合物の製造販売・再生砕石の製造販売・アスファルトガラ・コンクリートガラの受入業務)
平成15年4月：ホットビン計量器交換 製造能力 新材120 t/h
平成19年3月：臼幸産業(株) 創業100周年
平成19年7月：御殿場合材センター10周年
平成22年6月：プラント操作盤をハロータッチⅡよりプロメックスに変更
平成26年2月：(株)NIPPPO 創業80周年

・工場責任者よりひと言 (工場長：山本 勇蔵)

静岡県アスファルト合材協会創立40周年おめでとうございます。
御殿場合材センターも平成9年(株)NIPPPOと臼幸産業(株)の共同企業体として操業開始から17年となり田中会長をはじめ、会員の方々にも大変お世話になり改めて感謝いたします。
顧客から求められる製品も時代の流れとともに多種多様となり、合材プラントもそれに応えるべく変化を続けています。この先10年後にはプラント設備も更新時期を迎え省エネルギーで環境にやさしいけど製造能力も十分に兼ね備えた工場へと変化していることと思います。
最後に、静岡県アスファルト合材協会の益々の発展をお祈りいたします。

プラント設備等写真



 **NIPPO**  **USUKO**



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 3

東部 支部

H26. 11. 30 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	山旺建設工業 株式会社 代表会社：山旺建設工業(株)
プラント所在地	〒 411-0905 静岡県駿東郡清水町長沢1151
電話番号・FAX番号	TEL: 055-973-1055 FAX: 055-973-1057
メールアドレス	

・アスファルトプラント設備概要

製造会社：日工株式会社	型式番号：NAP・BD-1600MBP
公称能力：新規 96 t/h	再生 120 t/h 再生骨材加熱方式：併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否：可	受入れ品目：アスガラ
最大保管容量：2994 m ³	処理能力：240 t/日

・アスファルトプラント沿革

当社は昭和42年11月15日に創業し、昭和43年2月に浦賀製30 t/hのプラントを設置しました。現在では日工製90 t/hに変更を行い、堅実経営に徹し社員の和と信用第一をモットーに、着実に一步一步歩んでまいりました。平成24年5月には日工製デマンド装置を導入し、使用電力が見える化し、使用電力の削減に務めています。今後も信用第一と考え、顧客のニーズに合わせ自然と環境との調和を図りながら、地域社会に認められるより良い品質の物を提供していきます。

・工場責任者よりひと言（係長：粉川 昌樹）

静岡県アスファルト合材協会創立40周年おめでとうございます。私は入社してまず品室管理の業務に就き、右も左もわからない状態でしたが、合材協会に出席する事により、諸先輩方からご指導をいただき、会社及び私個人のスキルアップに繋がり非常に感謝しております。工場責任者としてまだ一年目ですが、諸先輩方が築き上げたものを伝承し、今後も地域社会に認められるよりよい品質を提供したいと思います。合材協会の今後の益々のご発展を願い挨拶とさせていただきます。

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 4

東部 支部

H26.10.1 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	昭和舗道株式会社 中林建設(株)・土屋建設(株)・山本建設(株) 丸紅エネルギー(株)・(株)後藤・モリックス建機(有)
プラント所在地	〒410-2321 静岡県伊豆の国市三福396-1
電話番号・FAX番号	TEL: 0558-76-1663 FAX: 0558-76-0039
メールアドレス	ohito@wine.ocn.ne.jp

・アスファルトプラント設備概要

製造会社: (株)新潟鉄工	型式番号: NP1500C-DMD型
公称能力: 新規 105 t/h	再生 90 t/h 再生骨材加熱方式: 二重ドラヤー

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否: 否	受入れ品目: ———
最大保管容量: — m ³	処理能力: — t/日

・アスファルトプラント沿革

- ◎ 通学路になっている為、学校とPTAと協議し時間規制一方通行ルールを設けている。
- ◎ 年1回近隣住民との懇親会を開き意見交換を行っている。
- ◎ 公道に隣接している為夜間の街灯を3箇所設置している。
- ◎ 公道に隣接している為月に1~2回程度スローパーを使用した清掃を実施している。
- ◎ 骨材ストックヤード壁を高めにし防塵・防音対策を実施している。
- ◎ 省エネ対策としてデマンド監視・制御装置を設置した。

・工場責任者よりひと言 (執行役員工場長 : 松下 晴男)

静岡県AS合材協会設立40周年 おめでとうございます

当地に昭和42年設立以来、47年間操業しておりますが、平成4年に工場の立替を行い現在に至っております。

機械の老朽化が進む中で他社の皆様の工場を拝見し、装置の近代化が著しいのに驚いています。合材の再生利用が進む中で再生骨材の確保が年々難しくなっているのが現状です。

前任の工場長(日比)に変わり、平成26年9月より松下が赴任いたしました。

今後は協会活動にもすすんで参加させて頂きますのでご指導をお願い致します。

昭和舗道も地域に愛され・貢献できるよう努力して参りますので、宜しくお願い致します。

プラント設備等写真



より美しく、そして人に優しい地球環境をめざして路面清掃業務に携わっております。



近年増加傾向にある切削オーバーレイ工に応えるべく、作業効率と安全性に優れたSAKAIのER 552F型切削機を導入しております。



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 5 東部 支部

H26. 11. 30 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	菅原建設(株)伊東瀝青混合所 菅原建設(株)
プラント所在地	〒 414-0001 静岡県伊東市宇佐美大窪 3 6 5 6 - 1 0
電話番号・FAX番号	TEL: 0557-47-3344 FAX: 0557-47-3354
メールアドレス	

・アスファルトプラント設備概要

製造会社: 日工株式会社	型式番号: N A P ・ B D - 8 0 0 A B P
公称能力: 新規 48 t/h	再生 — t/h 再生骨材加熱方式: —

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否: 否	受入れ品目: ———
最大保管容量: — m ³	処理能力: — t/日

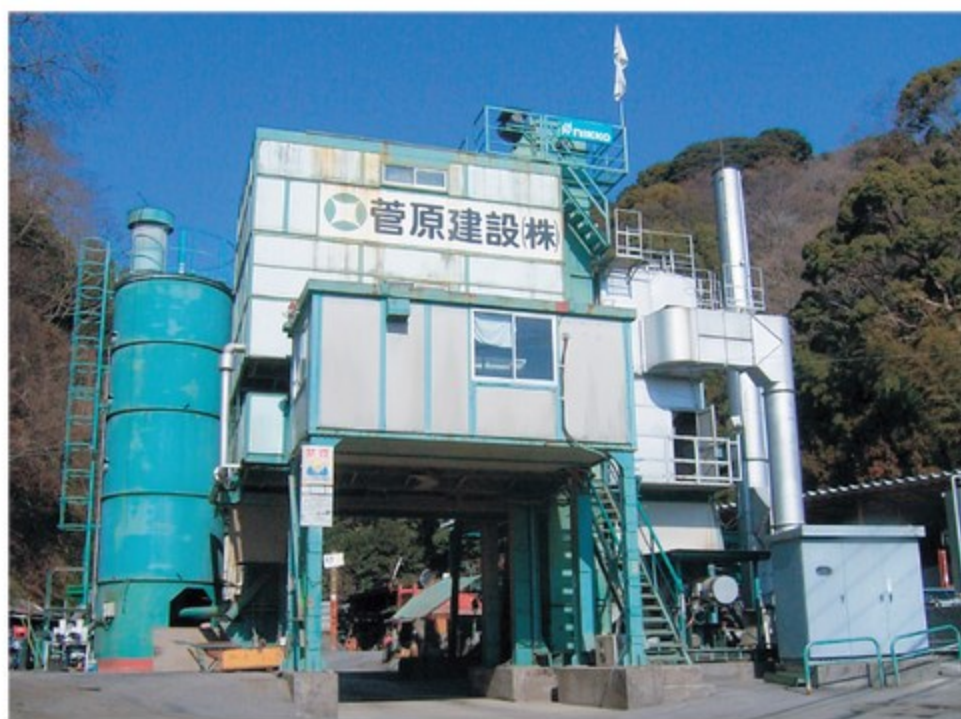
・アスファルトプラント沿革

昭和27年	現在の場所にてアスファルトプラント1号機 稼働開始
平成2年5月	現行のアスファルトプラントである5号機 稼働開始

・工場責任者よりひと言 (工場長: 稲葉 瑞絵)

創立40周年を迎えられました事を心からお慶び申し上げます。 歴代の会長・役員はじめ会員の皆様のご活躍に心から敬意を表します。 今日までの数多くの成果を礎として、会員の尚一層の団結と協力による協会の発展を期待申し上げます。 協会の活動を通して様々な行事に参加させて頂く中で、会員相互の信頼が深まり充実しております。日頃より皆様方には大変御指導・御協力を頂き感謝致します。 協会の一員として、日々目標を持ち、業務の着実な遂行に精一杯励み、また会員各社の皆様ともども協会の活動等に積極的に参加していきたいと存じますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。 小さいプラントですが、機会がありましたらぜひお立ち寄り下さい。

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 6

東部 支部

H26. 11. 1 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	共同企業体 東部リサイクルセンター 大有建設(株)・前田道路(株)
プラント所在地	〒 410-1125 静岡県裾野市富沢字向田235
電話番号・FAX番号	TEL: 055-992-3563 FAX: 055-993-6566
メールアドレス	as5taiyu@lilac.ocn.jp

・アスファルトプラント設備概要

製造会社: 田中鉄工 株式会社	型式番号: TAP-2025F-LB
公称能力: 新規 120 t/h	再生 150 t/h 再生骨材加熱方式: 併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否: 可	受入れ品目: アスガラ
最大保管容量: 3820 m ³	処理能力: 480 t/日

・アスファルトプラント沿革

昭和48年	大有建設(株)裾野工場 創業
平成16年	大有建設(株)と前田道路(株)のJVプラントとして新設・創業開始 プラント名: 共同企業体 東部リサイクルセンター

・工場責任者よりひと言 (工場長: 河野 司)

静岡県アスファルト合材協会の「創立40周年」おめでとうございます。 当工場も、「設立10周年」を3月に迎えることができました。 近隣協会のご理解や地元業者様のご協力のたわものと感謝しております。 静岡県東部地区は、昨年度は伊豆縦貫道が開通し、まとまった合材数量もあり伊豆方面への交通の便は良くなりました。今年度は、昨年並みの数量は見込めませんが、「良い品質」・「良い対応」を目指して地域密着工場として今後も運営していきたいと思っております。
--

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 7

東部 支部

H26. 10. 31 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	日本道路(株) 静岡合材センター
プラント所在地	〒 416-0946 静岡県富士市五貫島1156
電話番号・FAX番号	TEL: 0545-61-6276 FAX: 0545-64-0251
メールアドレス	teruaki.furukawa@nipponroad.co.jp

・アスファルトプラント設備概要

製造会社: 田中鉄工株式会社	型式番号: TAP-1015E-LB
公称能力: 新規 60 t/h	再生 90 t/h 再生骨材加熱方式: 併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否: 可	受入れ品目: アスガラ
最大保管容量: 10464 m ³	処理能力: 320 t/日

・アスファルトプラント沿革

設置年月 平成12年6月(現プラント)
ISO9001・14001 認証取得
平成20年、ストックヤード全てに上屋を設置
平成23年、デマンドコントローラを設置
平成26年、アスファルトタンク2基・操作盤の入替

・工場責任者よりひと言 (静岡合材センター所長: 棚 橋 弘)

静岡県アスファルト合材協会創立40周年誠におめでとうございます。 私はこれまでに、全国各地の合材協会活動を拝見する機会を得ましたが、静岡県の協会活動の活発さは全国一ではないかと感じられます。これらは一重に40年間の諸先輩方のご尽力によりつながれた「絆」によるものと感謝の念に堪えません。 プラント検査・クロスチェックの制度は有効かつ効果的に機能しており、なおかつ協会会員の「絆」を強めるツールにもなっている様に思われます。今後益々の協会会員への貢献度が高まることを期待しております。 これまでの40年間に諸先輩方がつながれた「絆」を現在私たちが預かっておりますが、我々は次世代によりよい「絆」を伝えていくべく奮闘努力することを誓わずにはおられません。 今後とも出来る限りの協力をさせて頂く所存ですので、よろしくお願いいたします。

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 8

東部 支部

H26. 11. 17 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	(株)NIPPO芝川合材工場 (株)NIPPO http://www.nippo-c.co.jp/
プラント所在地	〒 419-0315 静岡県富士宮市長貫字中川原551-1
電話番号・FAX番号	TEL: 0544-65-0850 FAX: 0544-65-1882
メールアドレス	oohata_kazuya@nippo-c.jp

・アスファルトプラント設備概要

新規プラント製造会社: (株)新潟鉄工所	型式番号: NP2000C
公称能力: 新規 120 t/h ・ 再生 120 t/h	再生骨材加熱方式: 併設加熱
再生プラント製造会社: ニッポメックス(株)	型式番号: MXR60CB

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否: 可	受入れ品目: アスガラ
最大保管容量: 5906 m ³	処理能力: 200 t/日

・アスファルトプラント沿革

昭和47年 4月頃	: 日本舗道(株)芝川合材工場 旧芝川町にて創業
平成 2年 9月	: プラント建替え 新潟鉄工所製NP2000C
平成15年10月	: 日本舗道(株)から(株)NIPPOコーポレーションに商号変更
平成17年 1月	: 二重ドライヤDMD型から新材再生並列ドライヤに変更
平成21年 7月	: (株)NIPPOコーポレーションから(株)NIPPOに商号変更

・工場責任者よりひと言 (工場長 藤沢 尚隆)

創立40周年おめでとうございます。今日の協会の礎を築いて来られた諸先輩の方々のご努力により調和の取れた協会活動を維持し、発展してきた事に頭が下がり、深く感謝申し上げます。

当工場は、静岡県の東部に位置し、世界遺産「富士山」のある町富士宮、周波数の境界である「富士川」を横断しその境目にある町富士宮（芝川町）、B級グルメで有名な「富士宮やきそば」のある町富士宮に立地しています。

昭和47年から操業を始め40年以上が経ちますが、今後も合材協会と共に歴史を刻み、地域社会と共存・共栄し、50年・60年を目指して努力していききたいと思います。

合材協会の発展に少しでも貢献出来れば幸いです。今後とも宜しくお願い致します。

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 9

東部 支部

H26. 10. 31 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	花菱建設（株）松崎工場 代表会社：花菱建設（株）
プラント所在地	〒410-3626 静岡県賀茂郡松崎町那賀22-1
電話番号・FAX番号	TEL：0558-42-0772 FAX：0558-42-3065
メールアドレス	izu@hanabishi-const.co.jp

・アスファルトプラント設備概要

製造会社：日工株式会社	型式番号：A-TOM600ABd
公称能力：新規 36 t/h	再生 --- t/h 再生骨材加熱方式：---

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否：否	受入れ品目：---
最大保管容量：--- m ³	処理能力：---

・アスファルトプラント沿革

昭和22年 5月 「花菱合成株式会社」設立
昭和29年以降 移動式アスファルトプラントにて静岡県内各地でアスファルト混合物の製造開始
昭和44年10月 賀茂郡松崎町に定置式アスファルトプラントを設置
平成 3年 8月 現在のアスファルトプラントに建替え
平成11年11月 社名を「花菱建設株式会社」に変更

・工場責任者よりひと言（工場長：山地 清志）

静岡県アスファルト合材協会創立40周年おめでとうございます。 長きに亘り、静岡県の舗装インフラを支え、発展させてこられた先人の皆様のご努力に対し深甚なる敬意を表します。 当社といたしましても、更なるアスファルト混合物の品質向上、製造の効率化を目指し、社業を発展させることにより、地域社会に貢献できる企業となるよう努力いたしてまいります。

プラント設備等写真



・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	前田道路株式会社 富士合材工場
プラント所在地	〒 417-0846 静岡県富士市今井434-1
電話番号・FAX番号	TEL: 0545-33-0627 FAX: 0545-33-0630
メールアドレス	-----

・アスファルトプラント設備概要

製造会社：日工株式会社	型式番号：NAP・602MBN
公称能力：新規 60 t/h ・ 再生 90 t/h	再生骨材加熱方式：併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否：可	受入れ品目：アスガラ・コンガラ（要相談）
最大保管容量：12157 m ³	処理能力：760.4 t/日

・アスファルトプラント沿革

1968年(昭和43年) 現所在地において「富士道路株式会社」として操業を開始
2003年(平成15年) 富士道路株式会社と共同企業体「富士アスコン」を結成し操業を開始
2013年(平成25年) 共同企業体を解散し「前田道路株式会社 富士合材工場」として単独操業を開始
☆☆☆ 地域に密着したサービスを提供し、お客様のニーズにお応えします！☆☆☆

・工場責任者よりひと言 (工場長 二田口 勝彦)

静岡県アスファルト合材協会創立40周年おめでとうございます。 歴史ある富士宮合材工場を廃止して、平成15年4月に富士道路株式会社と「共同企業体富士アスコン」を結成し約10年間操業してまいりましたが、富士道路株式会社の廃業を受けて、平成25年9月から単独運営になりました。 富士道路株式会社との企業体運営の中では、地元プラントとしての歴史と地域に密着した工場のノウハウを学びました。単独工場に移行してから1年が過ぎましたが、これからも富士道路株式会社の企業理念を受け継ぎ、さらに前田道路株式会社の運営方針を加味しながら地域の皆様に貢献できる工場を目指してまいります。 最後になりますが、静岡県アスファルト合材協会の益々の発展をお祈りいたします。

CREATIVE MIND -----こころをカタチに



MAEDA ROAD FUJI



MAEDA

前田道路(株)

富士合材工場



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 11 東部 支部

H26. 11. 17 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	丸三工業株式会社 アスファルトプラント 丸三工業株式会社
プラント所在地	〒 415-0037 静岡県下田市敷根 9 0 9 - 1
電話番号・FAX番号	TEL: 0558-23-3303 FAX: 0558-23-5730
メールアドレス	asplant@marusan03.co.jp

・アスファルトプラント設備概要

製造会社：株式会社 新潟鐵工所	型式番号：NP600B
公称能力：新規 36 t/h	再生 なし t/h 再生骨材加熱方式：-----

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否：不可	受入れ品目：-----
最大保管容量：----- m ³	処理能力：----- t/日

・アスファルトプラント沿革

当社は、昭和6年4月29日丸三木工所として創立し昭和28年4月25日に丸三工業（株）として真に喜ばれる生活環境の整備を業としております。このプラントは昭和62年より設備製造しています。10年以上前よりISO9001を取得して品質の改善と合せ環境への取り組み改善をして平成23年8月末よりエコアクション21を実施しています。このエコアクションとしてデマンド監視装置の設置により、プラント電気使用量の最大デマンドの抑制・使用量の削減・経費削減に務めています。下田市吉佐美の丸三本社は平成23年11月よりソーラー発電システムを導入し従業員の意識向上を図りつつ環境にやさしい会社を目指します。

・工場責任者よりひと言（工場長：渡邊 満 弘）

40周年ということでいろいろな出来事があったと思います。最近のことをふりかえりますと衝撃的に思い出されるのが、東日本大震災で多くの被災された方がいました。

東海地区でも地震想定による対応が必要になっていきますので、地域においてその技術・機械力等知見などを生かして被災者の救助や社会基盤の復旧に尽力できるようにし事業を継続的に維持するようBCPをより一層向上させ地域社会の役に立ちたいと思います。

この40周年を一つの節目と考え努力していきたいと思います。よろしくお願いします。

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 12 中部 支部

H26. 11. 1 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	大林道路株式会社 静岡アスファルト混合所
プラント所在地	〒 420-0955 静岡市葵区芝原21-21
電話番号・FAX番号	TEL: 054-247-3667 FAX: 054-247-3263
メールアドレス	

・アスファルトプラント設備概要

製造会社：日工株式会社	型式番号：NAP・BD-1600MBP
公称能力：新規 96 t/h ・ 再生 120 t/h	再生骨材加熱方式：併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否：可	受入れ品目：As廃材・Con廃材(無・有筋)
最大保管容量：7266 m ³	処理能力：240 t/日

・アスファルトプラント沿革

昭和48年	大林道路㈱静岡アスファルト混合所 操業開始
昭和61年	再生プラント 操業開始
平成 4年	新材プラント96t/h 再生プラント120t/hに建替

・工場責任者よりひと言 (所長 : 田中 浩二)

「豊かな生活環境の想像に向けて」をスローガンに、地域社会と共に歩み、あらゆるニーズに応じた高い品質を確保していきます。これからも職員一同、お客様や地域住民のみなさまから信頼される工場を目指し、静岡県の発展とともに、日々邁進していく所存です。

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 13 中部 支部

H26. 11. 28 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	静岡アスコン (三井住建道路(株)・大成ロテック(株)共同企業体)
プラント所在地	〒 421-1121 静岡県藤枝市岡部町岡部1439-2
電話番号・FAX番号	TEL: 054-667-6800 FAX: 054-667-6802
メールアドレス	k_syouji@smrc.co.jp

・アスファルトプラント設備概要

製造会社：日工株式会社	型式番号：NAP・BD-1000MBV
公称能力：新規 60 t/h ・ 再生 90 t/h	再生骨材加熱方式：併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否：可	受入れ品目：アスガラ・コンガラ
最大保管容量：6400 m ³	処理能力：320 t/日

・アスファルトプラント沿革

・平成 9 年 7 月岡部アスコン（住建道路(株)・日本道路(株)・三井道路(株)）で発足。
・平成 15 年 5 月住建道路(株)と三井道路(株)合併により 2 社 JV となる
・平成 26 年 4 月より静岡アスコン 三井住建道路(株)・大成ロテック(株)共同企業体へ

・工場責任者よりひと言 (工場長：庄子 勝弘)

顧客のニーズに応えるのはもちろん、品質確保・安全第一を基本として、静岡県の発展に寄与する工場としたい。

プラント設備等写真



プラント全景



事務所



職員

アスファルトプラント紹介

プラントNo. 14 中部 支部

H26. 11. 1 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	静岡リサイクルセンター 構成会社：鹿島道路(株)・静和工業(株)・(株)エコワーク 花菱建設(株)・大石建設(株)・神谷建設(株)
プラント所在地	〒428-0006 静岡県島田市牛尾867-1
電話番号・FAX番号	TEL: 0547-46-2911 FAX: 0547-46-3181
メールアドレス	satoru@kajimaroad.co.jp

・アスファルトプラント設備概要

製造会社：日工株式会社	型式番号：NAP・BD-1600MBP
公称能力：新規 96 t/h ・ 再生 120 t/h	再生骨材加熱方式：併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否：可	受入れ品目：アスガラ・コンガラ
最大保管容量：6720 m ³	処理能力：1,200 t/日

・アスファルトプラント沿革

・平成2年7月	鹿島道路(株)・静和工業(株)・(株)エコワーク・花菱建設(株)・大石建設(株)・神谷建設(株)の6社により操業開始
・平成2年10月	破碎プラント操業開始
・平成10年	ISO9001 導入
・平成12年	ISO14001 導入

・工場責任者よりひと言 (所長：萩森 寛二)

静岡県アスファルト合材協会、創立40周年、誠におめでとうございます。 私事ですが、三年前、広島より赴任いたしました。当初は、東名に新東名といった日本の大動脈、加えて国道一号線である静清バイパスと、そのスケールの大きさに驚愕するばかりで御座いました。 また、静岡県と協会といった官民一体のクロスチェック制度については、偉大な先達の皆様のご慧眼に、敬意を表すばかりでも御座います。 今後においても、構成会社である静和工業・エコワーク・花菱建設・大石建設・神谷建設の皆様と共に、業界の更なる発展を目指し、協会活動に尽力して行く所存で御座います。

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 15 中部 支部

H26.11.1 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	共同企業体志太アスコン藤枝工場 前田道路(株)・木内建設(株)
プラント所在地	〒426-0022 静岡県藤枝市稲川852
電話番号・FAX番号	TEL: 054-645-0696 FAX: 054-643-7863
メールアドレス	fujieac@kiuchi.co.jp

・アスファルトプラント設備概要

製造会社：日工株式会社	型式番号：NAP BD-1000ABP
公称能力：新規 60 t/h ・ 再生 60 t/h	再生骨材加熱方式：間接加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否：可	受入れ品目：アスガラ・コンガラ
最大保管容量：3777 m ³	処理能力：240 t/日

・アスファルトプラント沿革

・昭和43年1月	木内建設(株)静岡アスコン工場操業開始(三井ウイパ [®] アスファルトプラントWST60型)
・昭和47年6月	プラント建替(日工NAP1000AZB型)
・昭和54年8月	プラント建替(新潟NP1000A型)
・平成元年5月	プラント建替(現プラント)
・平成3年9月	セイエン商事(株)アスコン工場に商名変更
・平成5年1月	再生合材設備増設
・平成5年5月	産業廃棄物中間処理業許可取得(破碎施設新設)
・平成15年9月	前田道路・木内建設共同企業体 志太アスコン発足

・工場責任者よりひと言 (企業体代表：松本富男)

県合材協会創立40周年にあたり、社史を読み返してみた。
当合材プラントは、昭和43年1月木内建設(株)静岡アスコンとして操業開始。
「社に於いては、プラント管理技術者及びプラントオペレーターは皆無であった為、当時、東名高速道路静岡インター建設現場に携わっていた土木部職員と生コン試験担当者を道路公団静岡工事事務所で3ヶ月間研修、プラントオペレーターについては、愛知県にある某プラントで1ヶ月実習させた。出荷関係に於いても、ゴム乳剤添加する特殊合材に非常に苦心した」とあった。(当時、ゴム入り合材は特殊合材だった)
操業開始から46年が経過、プラント名も木内建設(株)セイエンアスコンとなり、平成15年9月に前田道路(株)と業務提携し、共同企業体志太アスコンとなり、今年で第12期を迎える事が出来た。
そんな中、私が配属されたのは、JV発足の1年半前の平成14年4月であった。
それまで同じ社内であっても、As合材に馴染みの薄い部署にばかり渡り歩いて来て、合材の”ご”の字も知らなかった私をここまで支えて来てくれた、先輩・同僚・部下に改めて感謝をしたい。
又、県合材協会活動では、微力ながら、県合協並びに中部支部の資料調査委員会に属し、3年前からは日本合材協会の資料・広報委員を仰せつかっております。
合材数量減少の厳しい中、品質管理の徹底・騒音、粉じん等の環境問題 etc … 多々あるが”奪い合えば足りず、分け合えば余る”の精神で、これからも頑張っていきたいと思っております。

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 16 中部 支部

H26. 11. 1 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	TOREKI・NIPPO JV 代表会社：東海瀝青工業（株） （株）NIPPO
プラント所在地	〒421-0117 静岡県静岡市駿河区下川原南1-1
電話番号・FAX番号	TEL：054-259-9564 FAX：054-257-3841
メールアドレス	

・アスファルトプラント設備概要

製造会社：日工株式会社	型式番号：NAP・BD-1000MBN
公称能力：新規 96 t/h ・ 再生 120 t/h	再生骨材加熱方式：併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否：可	受入れ品目：アスガラ
最大保管容量：5600 m ³	処理能力：350 t/日

・アスファルトプラント沿革

・昭和38年	東海瀝青工業（株）操業開始
・平成17年	（株）NIPPOとJVプラント（TOREKI・NIPPO JV）として操業開始。
・〃	プラント建て替え
・平成24年	エコアクション21認証登録

・工場責任者よりひと言（工場長：北川龍馬）

合材協会創立40周年おめでとうございます。 当社は創立51周年となりますが、そのうち40年を合材協会の皆様に支えられてきましたことをあらためて感謝いたします。30年史にも皆様のご苦勞や、取り巻く環境の厳しさが記述されていましたが、確かにここ10年でその経営の厳しさが現実のものとなっています。しかし、それに対応する知恵や技術も向上しているとも思います。 これからも職員一人一人、日々の努力は報われるものと信じて業務に取り組み、品質の良い合材を製造することで、社会貢献することを期待しています。

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 17 中部 支部

H26.11.1 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	共同企業体 志太アスコン 岡部工場 前田道路株式会社 木内建設株式会社
プラント所在地	〒 436-0012 静岡県藤枝市岡部町内谷字藤太丸784-2
電話番号・FAX番号	TEL: 054-667-1844 FAX: 054-667-1115
メールアドレス	

・アスファルトプラント設備概要

製造会社: 新潟鐵工所(株)	型式番号: NP1000A
公称能力: 新規 60 t/h ・ 再生 90 t/h	再生骨材加熱方式: 併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否: 可	受入れ品目: アスガラ
最大保管容量: 1164.4 m ³	処理能力: 320 t/日

・アスファルトプラント沿革

昭和57年12月	60 t/h プラントにて操業開始
平成13年 1月	再生ユニット30 t/h 設置
平成15年 9月	木内建設(株)とJVプラントとして操業開始 (共同企業体 志太アスコン)
平成18年 8月	再生ユニット45 t/h 設置
平成21年 7月	合材サイロ100 t 1基設置

・工場責任者よりひと言

加藤工場長:	昭和57年12月より新工場設立時より試験室7年間にてお世話になり、平成13年工場長として5年、平成24年より再び赴任してまいりました。今後とも地域発展のため尽力してまいります。
松永課長:	平成24年4月より赴任し早いもので、3年たちました。今年は使用骨材の変更で苦労しましたが、今後も品質管理担当として高品質の合材を出荷できるよう日々努力してまいります。
吉田係長:	平成21年7月より赴任し 5年たちました。古いプラントですが、環境面には十分に配慮し、お客様及び地元にも愛される工場造りを実施します。
望月社員:	御客様と地域が明るくなるようなプラントであり続けるよう、接客していきます。
青島社員:	平成26年6月末に入社しまだ半年程ですが、事務が初めてということもあり、学ぶことが多く、大変ながらも充実した日々を過ごしております。これから宜しくお願い致します。

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 18 西部 支部

H26. 12. 31 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	磐田瀝青舗材事業所 中村建設株式会社 福田道路株式会社
プラント所在地	〒 438-0016 静岡県磐田市岩井1907-204
電話番号・FAX番号	TEL: 0538-35-6031 FAX: 0538-35-3389
メールアドレス	

・アスファルトプラント設備概要

製造会社: 日工株式会社	型式番号: NAP・BD-1600MBP
公称能力: 新規 96 t/h	再生 120 t/h 再生骨材加熱方式: 併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否: 可	受入れ品目: アスガラ
最大保管容量: 4,602 m ³	処理能力: 480 t/日

・アスファルトプラント沿革

昭和25年4月	中村建設株式会社	三ヶ野プラント	創業	能力 20t/h
昭和39年9月	中村建設株式会社	三ヶ野プラント	建替	能力 50t/h
平成元年1月	中村建設(株)・福田道路(株)のJVプラント	新設創業		
	磐田瀝青舗材共同企業体			
平成25年4月	磐田瀝青舗材事業所に名称変更			
平成26年9月	事務所建替え			

・工場責任者よりひと言 (事業所長: 水内 義典)

創立40周年、誠におめでとうございます。 昭和25年からこの地にアスファルトプラントを構え、平成元年に磐田瀝青舗材共同企業体（通称：イワレキ）となり、現在に至ります。隣接する桶ヶ谷沼は、とんぼが70種類ほど確認されており、中でもベッコウトンボの生息地として知名度の高い沼です。当工場は、ISO14001を県内のアスファルトプラントの中で一番に認証取得し環境負荷低減等の活動をしています。今後も周辺環境に配慮しながら安全操業に努めます。

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 19 西部 支部

H26. 12. 10 現在

・事業所概要

プラント名称	協和建設協業組合
(代表会社及び構成会社)	(共栄建設(株) (株)林工組 常盤工業(株) 山平建設(株) (株)飯田組 神谷建設(株) (株)宮崎組 (株)レリコム)
プラント所在地	〒 431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川847の5
電話番号・FAX番号	TEL: 053-522-0804 FAX: 053-522-0766
メールアドレス	kyowakensetsu@po2.across.or.jp

・アスファルトプラント設備概要

製造会社: (株)新潟鉄工所	型式番号: NP-1500 B
公称能力: 新規 90 t/h	再生 90 t/h 再生骨材加熱方式: 併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否: 可	受入れ品目: がれき類
最大保管容量: 8492 m ³	処理能力: 800 t/日

・アスファルトプラント沿革

昭和40年 8 月	組合員 4 社にて協同組合設立
昭和42年 3 月	アスファルトプラント設置 能力25t/h
昭和45年 3 月	新たに組合員 4 社加入し 8 社となる 協同組合の組織を協業組合に変更
昭和45年 8 月	アスファルトプラント建替 能力50t/h
昭和48年10月	アスファルトプラント建替 能力90t/h
昭和59年 2 月	リサイクルプラント設置 能力30t/h
平成 7 年 7 月	リサイクルプラント建替 能力45t/h

・工場責任者よりひと言 (常務理事: 岩本 栄久)

創立40年おめでとうございます 今後共皆様のご指導よろしくお願い致します
--

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 20 西部 支部

H26.12.1 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	湖西アスコン共同企業体 代表会社：(株)中村組 大成ロテック(株)・中村土建(株)
プラント所在地	〒431-0451 静岡県湖西市白須賀3629-1
電話番号・FAX番号	TEL: 053-579-2332 Fax: 053-579-2264
メールアドレス	kosai_as@shizuoka.tnc.ne.jp

・アスファルトプラント設備概要

製造会社：日工株式会社	型式番号：NAP・BD-1600MBP
公称能力：新規 96 t/h	再生 120 t/h 再生骨材加熱方式：併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否：可	受入れ品目：アスガラ
最大保管容量：887.3 m ³	処理能力：480 t/日

・アスファルトプラント沿革

平成3年12月	大成道路(株)（現在の「大成ロテック(株)」）湖西合材工場の所在した現在の場所に、(株)中村組旧湖西プラントを統廃する形で、(株)中村組・大成ロテック(株)・中村土建(株)の三社の共同プラントとして操業開始。
平成26年8月	創業当初より23年間使用してきた操作盤を「next-Exa-AP」に更新。

・工場責任者よりひと言（工場長：加藤 雅美）

このたび、静岡県アスファルト合材協会が設立40周年を迎えられたこと心よりご祝福申し上げます。 創立以来、時代の移り変わりに伴う多事多難を乗り越えられた諸先輩方のご苦勞の賜物と敬服致します。私は、平成22年5月に湖西アスコンに赴任し、この記念すべき節目に参加させていただき又、関係各所の方と仕事をさせて頂けたことは、今後の仕事においても大いに役立つと思います。 こちらに赴任する前、関西、九州地区と仕事をして来ましたが、これ程活発に活動されている協会はなく、当協会のメインであるクロスチェック制度や官民共同の研修会等と日々活動されている事は、将来的にも後続く方にバトンタッチが出来て行くと思われまします。 40周年を機になお一層の発展、躍進をされ発展されることを心より期待致します。
--

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 21 西部 支部

H26. 12. 10 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	西部合材リサイクルセンター協同組合 ((株) 泉組・鹿島道路(株)・須山建設(株)・西遠建設(株) ・日本道路(株)・パブリック技建(株)・(株) 浜建)
プラント所在地	〒 431-1111 静岡県浜松市西区伊左地町1511-2
電話番号・FAX番号	TEL: 053-484-3820 FAX: 053-484-3821
メールアドレス	info@seibugouzai.or.jp

・アスファルトプラント設備概要

製造会社: 日工株式会社	型式番号: NAP・ABD-1600MBN
公称能力: 新規 96 t/h	再生 120 t/h 再生骨材加熱方式: 併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否: 可	受入れ品目: コンガラ・アスガラ
最大保管容量: 11905 m ³	処理能力: 960 t/日

・アスファルトプラント沿革

・昭和59年	西部合材リサイクルセンター協同組合設立
・平成13年10月	現在の場所に移転のうえプラント新設創業開始

・工場責任者よりひと言 (工場長: 鈴木 正志)

静岡県アスファルト合材協会創立40周年おめでとうございます。 今後ますますの発展をお祈りいたします。 さて弊社は常に良い製品の提供を目指し、従業員全員で品質・技術力の向上に努めています。さらにCO₂削減による環境負荷の低減への取り組み、また環境面のみに限らず、地元地域の皆様のお役に立てるよう鋭意努力してまいります。
--

プラント設備等写真



アスファルト合材プラント



破碎プラント



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 22 西部 支部

H26.12.1 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	西遠アスコン共同企業体 大林道路(株) (株)水野組・遠鉄建設(株)・(株)丸久組
プラント所在地	〒431-2102 静岡県浜松市北区都田町8546-5
電話番号・FAX番号	TEL: 053-428-3808 FAX: 053-428-3809
メールアドレス	shigeki-takagi@obayashi-road.co.jp

・アスファルトプラント設備概要

製造会社：日工株式会社	型式番号：NAP・BD-1000APB
公称能力：新規 60 t/h ・ 再生 60 t/h	再生骨材加熱方式：併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否：可	受入れ品目：アスガラ・コンガラ
最大保管容量：2448 m ³	処理能力：390 t/日

・アスファルトプラント沿革

昭和63年9月	(株)水野組・大林道路(株)の2社の共同企業体で操業開始
平成4年11月	大林道路(株)・(株)水野組・(株)泉組の3社の共同企業体に組織変更
平成8年5月	プラント能力を48 t/hから60 t/hに変更
平成17年10月	大林道路(株)・(株)水野組・遠鉄建設(株)・(株)丸久組の4社の共同企業体に組織変更

・工場責任者よりひと言 (所長：高木 茂樹)

静岡県アスファルト合材協会40周年誠におめでとうございます。
永年に渡る諸先輩方のご尽力に敬意を表するとともに、
今後の業界発展と地域貢献のために微力ながら努力してまいります。

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 23 西部 支部

H27.3.31 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	中遠合材センター 代表会社：(株)NIPPO (株)中村組・(株)大浜中村組
プラント所在地	〒436-0031 掛川市高御所字曾我山1549-2
電話番号・FAX番号	TEL：0537-24-1911 FAX：0537-22-4911
メールアドレス	

・アスファルトプラント設備概要

製造会社：日工株式会社	型式番号：NAP・BD-1000MBN
公称能力：新規 60 t/h ・ 再生 90 t/h	再生骨材加熱方式：併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否：可	受入れ品目：アスガラ・コンガラ
最大保管容量：5944 ton	処理能力：640 t/日

・アスファルトプラント沿革

昭和47年	日本舗道(株)掛川合材工場として掛川市杉谷に開設操業
平成3年10月	日本舗道(株)・(株)中村組・(株)大浜中村組の3社共同企業体として旧浅羽町諸井に新設移転
平成21年10月	現在の掛川市高御所に新設移転 建設副産物破碎施設(AS塊、CON塊) アスファルト乳剤製造施設(PK3・4、高性能乳剤)を併設 プラント南側は小笠山総合運動公園(エコパスタジアム)が広がっています。

・工場責任者よりひと言(工場長：松永洋二)

静岡県アスファルト合材協会創立40周年おめでとうございます。 中遠合材センターは沿革のとおり、新設移転の変遷を経て現在に至っています。 気候温暖・自然に囲まれた・風光明媚な県西部地区にて長年合材製造に携わることが出来たのも得意先様、仕入先様、協会会員の皆様に支えられた賜物であります。従業員一同感謝の気持ちを忘れず、これからも起こりうるであろう”変化”に対応できる工場となるべく、努力していきたいと考えております。 最後に静岡県アスファルト合材協会と会員皆様の益々の発展をお祈りいたします。

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 24 西部 支部

H26. 12. 1 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	天竜川砂利プラント協同組合 アスファルト合材工場 構成会社：小笠原マル昇(株)・(株)植松鈴木組
プラント所在地	〒 434-0022 静岡県浜松市浜北区新堀1-1
電話番号・FAX番号	TEL: 053-586-3251 FAX: 053-586-3894
メールアドレス	gouzai_tgp@ybb.ne.jp

・アスファルトプラント設備概要

製造会社：(株)新潟鐵工所	型式番号：NP-1500A型
公称能力：新規 90 t/h ・ 再生 90 t/h	再生骨材加熱方式：間接加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否：可	受入れ品目：がれき類
最大保管容量：1101 m ³	処理能力：400 t/日

・アスファルトプラント沿革

工場操業開始年月：昭和55年 9月

・工場責任者よりひと言 (工場長：伊藤 実)

静岡県アスファルト合材協会創立40周年おめでとうございます。 当社は、昭和39年12月天竜川砂利プラント協同組合を設立、昭和48年2月生コン工場、昭和55年9月にアスファルト合材工場をスタート、天竜川の沿線に全ての工場を配置しアスファルト合材はもとより砂利・砂、生コンの製造販売を行っています。 これからも全社一丸となり、これまで以上に品質の向上・技術の向上に努力して参ります。
--

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 25 西部 支部

H26. 11. 28 現在

・事業所概要

プラント名称	乗松建設(株)アスファルト合材工場
(代表会社及び構成会社)	乗松建設(株)
プラント所在地	〒 438-0115 静岡県磐田市上神増 5 - 1
電話番号・FAX番号	TEL: 0539-62-2238 FAX: 0539-62-5315
メールアドレス	puranto@norimatu.co.jp

・アスファルトプラント設備概要

製造会社： 田中鉄工株式会社	型式番号： T A P - 1 0 0 0 E - L B
公称能力： 新規 70 t/h ・ 再生 70 t/h	再生骨材加熱方式： 間接加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否： 否	受入れ品目： —
最大保管容量： — m ³	処理能力： — t/日

・アスファルトプラント沿革

昭和39年に最初のアスファルト合材工場創業
昭和50年にプラント建替え（45 t/h）
平成元年1月プラント建替え（70 t/h）
現在に至る

・工場責任者よりひと言（工場長：市川 勇一郎）

当社は創業当初から単独一社（西部地区では当社のみ）で操業しており、社内工事の出荷が約60%で販売は約40%あります、市町村合併前は天竜以北の出荷量が多かったですが、現在は磐田、袋井地区が主体です、環境については平成21年から会社全体でエコアクションを開始し、省エネとCO2の削減、地域活動に積極的に取り組んでおります。
--

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 26 西部 支部

H26.12.1 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	浜岡アスコン共同企業体 代表会社：(株)佐藤渡辺 構成会社：共和建設(株)・(株)加藤組
プラント所在地	〒437-1602 静岡県御前崎市比木2038-1
電話番号・FAX番号	TEL: 0537-85-3393 FAX: 0537-85-4627
メールアドレス	

・アスファルトプラント設備概要

製造会社：日工株式会社	型式番号：NAP・FBD-2000ABV
公称能力：新規 120 t/h ・ 再生 120 t/h	再生骨材加熱方式：併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否：可	受入れ品目：アスガラ・コンガラ
最大保管容量：902.25 m³	処理能力：405 t/日

・アスファルトプラント沿革

平成6年9月 (株)渡辺組 浜岡合材工場として御前崎市比木に新設
平成17年4月 浜岡アスコン（(株)加藤組、共和建設(株)、佐藤道路(株)）と合併し 浜岡アスコン共同企業体となる
(株)渡辺組と佐藤道路(株)が合併し(株)佐藤渡辺となる
プラント名： 浜岡アスコン共同企業体

・工場責任者よりひと言 (工場長：鈴木 淳二)

静岡県アスファルト合材協会創立40周年おめでとうございます。 当プラントも構成会社の合併に伴い旧浜岡町にあった2プラントを統合しまして、はや10年がたとうとしております。 その間、静岡空港やアクセス道路等の地域の主要事業に微力ながら貢献してまいりました。 今後も官民間わず、良質な資材の供給に努めてまいりたいと思います。
--

プラント設備等写真



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 27-1 西部 支部

H27. 4. 1 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	共同企業体 浜松中央アスコン 前田工場 代表会社：前田道路株式会社 西遠コンクリート工業(株)
プラント所在地	〒 431-3103 静岡県浜松市東区常光町 8 1 4
電話番号・FAX番号	TEL: 053-434-4986 Fax: 053-434-5007
メールアドレス	fukunaga@maedaroad.co.jp

・アスファルトプラント設備概要

製造会社：日工株式会社	型式番号：NAP-1202AZB
公称能力：新規 90 t/h ・ 再生 90 t/h	再生骨材加熱方式：併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否：可	受入れ品目：ASガラ COガラ
最大保管容量：13835 m ³	処理能力：808 t/日

・アスファルトプラント沿革

昭和49年	前田道路株式会社浜松合材工場として設置
昭和62年	中間処理施設設置
平成 7年	再生合材ユニット設置
平成19年2月	西遠コンクリート工業(株)と共同企業体結成
平成26年7月	合材サイロ入替え(140t+120t)

・工場責任者よりひと言 (工場長：福永 昇)

当プラントは浜松インター近くで交通の便が非常に良く、また天竜川沿いに立地しているので非常に目立つプラントです。また同市南区倉松に共同企業体として西遠工場を有しており、浜松市及び静岡県西部地区を営業エリアとして活動しております。

アスファルトプラント、リサイクルプラントとも県内最大級の規模、能力を有しており災害時など、瞬発力を問われるときの対応には自信を持っております。

乳剤工場を併設しておりデスピの対応、フィニッシャー貸し出しもお任せください。

地域密着の総合型プラントとして貢献してまいります。

プラント設備等写真



後列左から 宮地真理奈(事務)加藤瑞絵(事務)田母神鷹(機械)亀井博文(営業課長)大野康三(事務課長)三宅博巳(機械係長)
前列左から 白英起(機械)細井武夫(浜松アスコン)福永昇(工場長)佐久間渉(試験係長)渡邊裕樹(試験)

アスファルトプラント紹介

プラントNo. 27-2 西部 支部

H26. 10. 30 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	共同企業体 浜松中央アスコン 西遠工場 前田道路(株)・西遠コンクリート工業(株) 西遠コンクリート工業：中部・中部がス・鈴木組・エムアイ・トリ道路
プラント所在地	〒 432-8064 静岡県浜松市南区倉松町4048番地
電話番号・FAX番号	TEL：053-447-1489 FAX：053-448-8484
メールアドレス	au06386@sala.jp

・アスファルトプラント設備概要

製造会社：新潟鉄工(田中鉄工 改良)サイロのみ
公称能力：新規 — t/h ・ 再生 — t/h 再生骨材加熱方式： —

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否：可	受入れ品目：がれき類 (Co、As)
最大保管容量：8530 m ³	処理能力：560 t/日

・アスファルトプラント沿革

・昭和45年 5月	西遠コンクリート工業(株)設立 コンクリート二次製品の製造と販売
・平成 9年 2月	中部グループとなり、アスファルトプラント及びがれき類の 中間処理施設へと事業変更
・平成19年 2月	前田道路(株)と共同企業体 浜松中央アスコン 発足
・平成21年 5月	ASプラントを撤去し合材サイロを改造しサテライト工場となる

・工場責任者よりひと言 (工場長：内山 淳)

本日ここに静岡県アスファルト合材協会創立40周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。40年の永きに亘りご尽力を承りました先輩諸兄の方々には深く感謝申し上げます。

弊社は平成9年にコンクリート二次製品製造工場からアスファルト合材プラントとして事業転換致しました。近隣工場皆様の暖かいご指導ご鞭撻により今を迎えられております。今後も時代の激変が予測されますが、荒波に逆らわず地域社会への貢献に向け日々精進して参りたいと思います。

結びに40周年を契機と致しまして協会員各位の限りない御健勝と御多幸をお祈り申し上げます、誠に言葉調いませませんがお祝いの言葉とさせていただきます。

プラント設備等写真



旧アスファルトプラント施設



現在のサテライトサイロ施設



アスファルトプラント紹介

プラントNo. 28 西部 支部

H26. 11. 30 現在

・事業所概要

プラント名称 (代表会社及び構成会社)	共同企業体 掛川アスコン 代表会社：前田道路(株) (株)川島組・(株)鈴木組
プラント所在地	〒 436-0012 静岡県掛川市上内田字五百済 2 4 4 1 - 1
電話番号・FAX番号	TEL: 0537-62-1511 FAX: 0537-62-1577
メールアドレス	

・アスファルトプラント設備概要

製造会社：日工株式会社	型式番号：NAP・BD-1000M(B)F
公称能力：新規 60 t/h ・ 再生 90 t/h	再生骨材加熱方式：併設加熱

・産業廃棄物処理施設概要

受入れの可否：可	受入れ品目：アスガラ・コンガラ
最大保管容量：1706 m ³	処理能力：960 t/日

・アスファルトプラント沿革

平成16年 2月 前田道路(株)と(株)川島組のJVプラントとして設立。 平成24年10月 (株)鈴木組が新規参入し、三社JVプラントとなる。
--

・工場責任者よりひと言 (工場長：岩崎誠示)

静岡県アスファルト合材協会設立40周年おめでとうございます。 当プラントは、前田道路(株)、(株)川島組との企業体として平成16年2月より、掛川市上内田に創業し、平成24年10月より(株)鈴木組が新たに企業体に加わりました。又プラント周辺は、お茶畑に隣接しているので環境保全を第一に日々取り組んでいます。 現在アスファルト合材、破碎事業(再生破碎、アス塊、コン塊受け入れ)等の製造販売を行うプラントとして、活動をしています。 今後も地域環境と品質の向上に職員一同いままで以上に努力を続けて参ります。 最後に、合材協会のますますのご発展をお祈りいたします。
--

プラント設備等写真



静岡県の舗装への取り組み

静岡県の舗装への取り組み

静岡県交通基盤部道路局道路保全課

課長 大石 俊一

1 静岡県の舗装の現状

県管理道路は、平成 26 年 4 月 1 日現在、実延長 2,741 km、そのうち舗装済延長は 2,685 km である。

舗装補修に係る事業費は、平成 26 年度当初が約 36.7 億円であり、平成 19 年度の 22.0 億円から比べると近年増加傾向ではあるが、ピークである平成 5 年度の 103.6 億円からは、6 割以上減少している。(図 1-1 参照) これは、この間、静岡市と浜松市が政令市へ移行し、管理道路の延長が短くなったことにもよるが、単位延長当りの補修事業費からわかるように、近年の経済低成長による、著しい予算の減少が主な要因であると考えられる。

表 1-1 土木事務所別舗装済延長

土木事務所	舗装延長(km)
下田	265
熱海	143
沼津	668
富士	342
島田	610
袋井	605
浜松	51
合計	2,685

注：端数処理により合計が一致しない。

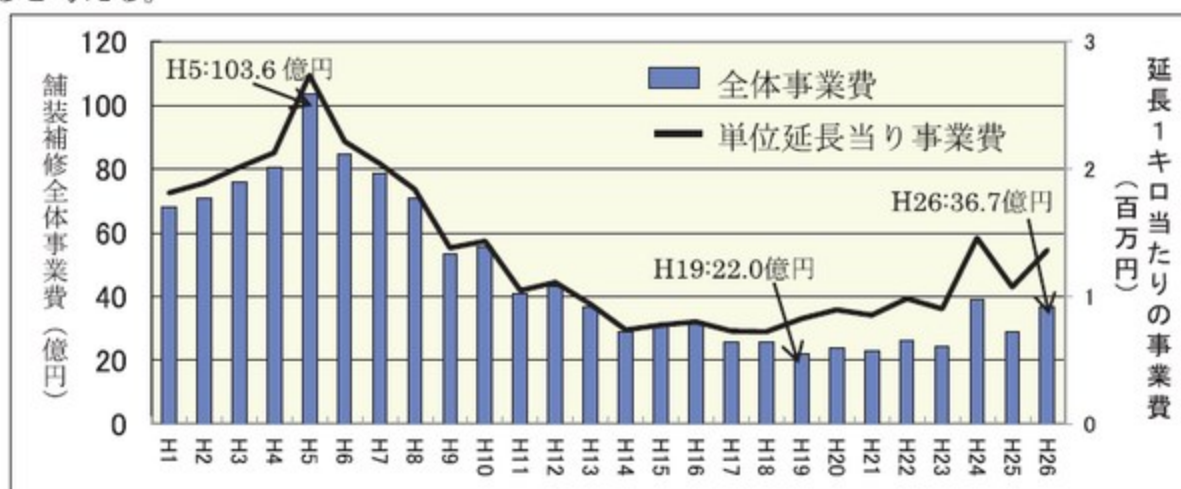


図 1-1 舗装補修関係予算の推移

また、事業費の減少に比例するように、路面の状態も悪化しており、直近の調査（平成 25 年度）では、全路線の平均 MCI (Maintenance Control Index: 維持管理指数) が 4.5 となり、これは、修繕が必要と言われる MCI 5 を下回っている。また、県管理道路の路面性状を示す図 1-2 のとおり、緊急的な修繕が必要と言われる MCI 3 未満の延長が全体の約 2 割(約 470 km)を占めている。

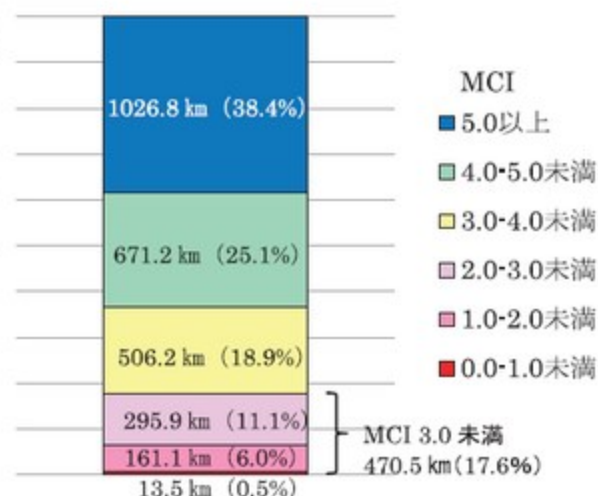


図 1-2 県管理道路の路面性状 (H25)

2 長寿命化への取り組み

(1) 舗装ガイドラインの策定

県では、近年の厳しい財政状況により公共事業費が著しく減少している中、高度経済成長期に建設された多くの公共土木施設が近い将来に更新期を迎え、施設の更新費や維持管理費の増大が大きな課題となっている。

そこで、限られた予算の中で、コスト低減を図り最適な維持管理を行うため、社会資本長寿命化行動方針を策定し、施設の長寿命化の推進に取り組んでいる。

舗装においては、従前の事後保全型から予防保全型の維持管理への移行を目指し、平成 17 年度に舗装の長寿命化計画の具体的な手続きを示した「舗装ガイドライン」(以下、ガイドライン)を策定した。

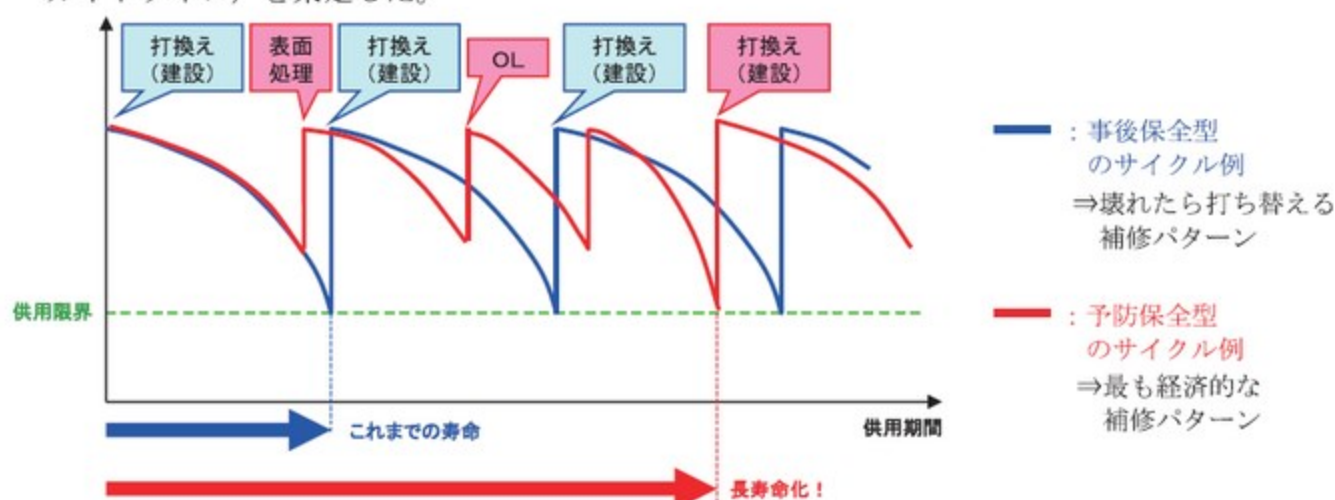


図 2-1 舗装の長寿命化対策のイメージ

(2) 緊急対策事業の実施

平成 17 年度、ガイドラインを基に、ライフサイクルコストを算出し、最も経済的な補修計画である「中長期管理計画」を策定した結果、平成 5 年度以降の舗装補修費の減少の影響により、舗装が劣化した区間が残ってしまう“積み残し”が多く、円滑に予防保全への移行することが困難であることが確認できた。そこで、平成 29 年度より予防保全型維持管理へ移行することとして、平成 22 年度から 28 年度までの 7 箇年で N 5 交通以上かつ MCI 2 未満の特に舗装が劣化した箇所の解消を目標に、「道路施設長寿命化緊急対策事業（舗装）」に取り組んでいる。

表 2-1 道路施設長寿命化緊急対策事業（舗装）の概要

期 間	平成 22 年度～28 年度（7 年間）
対象路線	交通区分 N5～N7（B1～D）の路線：1,445 km （交通区分 N5～N7（B1～D）：大型車交通量 250 台／日・方向 以上の路線）
対象箇所	平成 28 年度までに MCI が 2.0 未満になると予測される箇所

(3) 試験施工の実施

県では、緊急対策事業完了後に、予防保全の主たる工法として想定している加熱薄層舗装について、平成 18 年度から試験施工を実施している。

これまでに、下表 2-2 に示す 11 箇所で実施しており、現在追跡調査を行い、今後も継続的に長寿命化の有効性を検証していく。

表 2-2 表面処理工 試験施工箇所

	年度	路線名	箇所名	交通区分	経過年
①	18	(主) 修善寺戸田線	伊豆市修善寺達磨山	N 3	8
②	19	(国) 150 号	焼津市五ヶ堀之内	N 7	7
③	19	(主) 島田吉田線	島田市本通	N 5	7
④	19	(主) 島田金谷線	島田市中溝町	N 6	7
⑤	19	(主) 島田川根線	島田市鶴網	N 5	7
⑥	19	(一) 袋井小笠線	菊川市小笠町	N 3	7
⑦	19	(一) 磐田竜洋線	磐田市竜洋町	N 5	7
⑧	19	(主) 富士宮鳴沢線	富士宮市根原	N 4	7
⑨	20	(国) 135 号	東伊豆町大川	N 5	6
⑩	20	(一) 相良浜岡線	御前崎市比木	N 5	6
⑪	21	(一) 沼津小山線	御殿場市中山	N 6	5

現時点の調査結果では、加熱薄層舗装は、わだち掘れ抑制や平坦性の維持効果は小さいものの、ひび割れにおいては、全ての交通量区分で優れた抑制効果が得られることを確認している。

また、加熱薄層舗装の供用年数は 14 年程度と予測され、ガイドライン策定時に想定した年数（6 年）の 2 倍以上延命が可能となり、補修費用の低減が期待できる結果となった。

さらに、現場状況によっては、14 年以上供用できる可能性もあり、今後も更に追跡調査を重ね、ライフサイクルコストを低減させる有力な手法のひとつとして工法の改良や管理手法などを確立し、ガイドラインに反映させていきたい。



写真 2-1 左 ③ (主) 島田吉田線における施工 7 年後 (H26) の路面状態
右 ⑪ (一) 沼津小山線における施工 5 年後 (H26) の路面状態

(4) 性能規定

県では、平成 14 年度から、新たな発注方式の一つとして、「性能規定発注方式」による工事を発注している。

本方式は、発注者が当該道路に必要な性能を規定し、材料・施工方法等の仕様について、受注者の提案を受けるものであり、民間の新技术を積極的に採用できる方式である。

平成 25 年度までに 98 箇所を実施し、これまでにわだち掘れ低減、平たん性改善、浸透水量確保、騒音低減など、より良い舗装性能を得ることができている。

表 2-3 性能規定発注方式により確認された舗装性能を上げる有効な対策

目的	対策内容
わだち掘れ低減	①舗設時の交通解放温度を 40℃以下とする ②アスファルトフィニッシャー敷均し時にセンサーを使用する (横断形状の改善) ③仕上げ転圧にタンデムローラを使用する
平たん性改善	①施工における高さの管理を 20m から 10m に変更する ②舗設時の交通解放温度を 40℃以下とする ③アスファルトフィニッシャー敷均し時にセンサーを使用する ④施工継目(横断継目)の工夫(前日施工分 2 m 程度切断除去)する ⑤大型アスファルトフィニッシャー(タンパー・バイブレーター方式)を使用する
浸透水量確保	①混合物に整粒骨材を使用する ②表層施工厚 40 mm を 50 mm に変更する ③アスファルトフィニッシャー敷均し時にセンサーを使用する ④仕上げ転圧にタンデムローラを使用する
騒音低減	①混合物の最大粒径 13 mm を「5 mm または 10 mm」に変更する ②表層施工厚 40 mm を 50 mm に変更する ③舗設時の交通解放温度を 40℃以下とする

本方式は、技術提案を行う受注者と技術提案された内容を審査する発注者の双方の技術力向上につながるという副次的効果も期待できることから、今後も引き続き実施していく予定である。

3 おわりに

舗装の長寿命化への取り組みを進めて 10 年以上が経過しました。これまでに、長寿命化の本格導入に向けた準備として、試験施工や路面性状調査等を行い、多くのデータを蓄積してきました。

今後は、このデータを活かして、ガイドラインに基づいた予防保全型の維持管理の実施を目指しますが、供用限界に至る前に予防措置により延命を図るこの維持管理手法の

確立には、正確な路面劣化予測が必要不可欠であり、この取り組みの実効性をより高めるためには、アスファルト合材協会の皆様を始め、民間の方々の技術力、ノウハウが必要であり、良質な舗装材料の安定供給が何よりも重要と考えています。

今後も、より良い舗装の構築に向けて、多くの方の技術や知恵を拝借しながら、安全で安心な“みちづくり”を進めていく所存ですので、引き続き貴協会の御協力を賜りたくよろしくお願いします。

静岡県内小中学生プラント見学会・作文紹介

静岡県アスファルト合材協会 会長・総務委員長

田中 豊

丸三工業(株) 代表取締役社長

当協会の上位団体にあたります「一般社団法人日本アスファルト合材協会」が、平成27年度に協会設立30周年を迎えられます。

その記念事業として全国小中学生を対象としました「道路、道に関する」作文コンクールの募集があり、当協会として県内2ヶ所の合材工場で近隣の小中学生を対象とした工場見学会を実施し参加していただいた皆さんに「道路、道」についての作文を書いていただきました。

工場見学会の概要と、優劣つけ難い作文のうち、静岡県アスファルト合材協会賞を受賞された14作品についてご紹介させていただきます。なお、この14作品については、日合協記念事業への応募作品となります。

1. 工場見学会

日 時	平成26年7月4日 AM9:45 ～ PM12:20	平成26年8月5日 AM9:00 ～ AM10:30
開催場所	丸三工業(株)アスファルトプラント 下田市敷根909-1	西部合材リサイクルセンター協同組合 浜松市西区伊佐地町1511-2
対象学校・学年	下田市立下田中学校 2年生（3クラス）	浜松市立伊佐見小学校 4～6年生
参加人数等	89名 クラスごと（29名・30名・30名）の 3グループに分けて実施	44名 (44名同時に実施)

2. 作文

最優秀賞	山下 さくら（やました さくら）さん	（下田中学2年A組）
金 賞	進士 真心（しんじ まこ）さん	（下田中学2年C組）
	岩谷 凱翔（いわたに かいと）さん	（伊佐見小4年3組）
銀 賞	平尾 柊（ひらお しゅう）さん	（下田中学2年B組）
	堀谷 紗彩（ほりや さや）さん	（下田中学2年B組）
	佐々木 賢研（ささき けん）さん	（伊佐見小6年2組）
銅 賞	野中 楨南（のなか まきな）さん	（下田中学2年A組）
	中村 泉稀（なかむら みずき）さん	（下田中学2年C組）
	村井 宝（むらい たから）さん	（下田中学2年C組）
	清水 洸建（しみず こうけん）さん	（下田中学2年A組）
	古橋 若奈（ふるはし わかな）さん	（伊佐見小4年2組）
	藤岡 琉偉（ふじおか るい）さん	（伊佐見小5年3組）
	川口 姫星（かわぐち きら）さん	（伊佐見小6年4組）
	高橋 温花（たかはし のどか）さん	（伊佐見小6年4組）





丸三工業(株)表彰式



西部合材見学会風景





西部合材表彰式



地域NEWS

中学生の作文表彰

静岡県アスファルト合材協会

静岡県アスファルト合材協会(田中豊会長)は、同協会設立40周年を記念し小・中学生を対象に作文コンクールを実施した。日本アスファルト合材協会が設立30周年を記念し全国小中学生向けに「道路、道に関する」作文コンクールを行っており、全国に先駆けて県で表彰した。

県アスファルト合材協会会員の丸三工業(下田市、田中豊社長)や西部合材リサイクルセンター協同組合(浜松市西区)が7月と8月に地元の下田市立下田中学校2年生や浜松市立伊佐見小



田中会長(中央)と受賞した生徒

選択肢に加えていただければありがたうとあいさつした。その後、受賞者8人に表彰状を手渡した。

山下さんは「アスファルトを使った道路を、特に意識せずにご利用していたが、これからは多くの人々が頑張ってアスファルトの道路を支えていることに感謝して歩きたい」と話した。

下田中学校における受賞者は次の通り(敬称略)。

【最優秀賞】

▽山下さくら

【金賞】

▽進士真心

【銀賞】

▽平尾隆▽堀谷紗彩

【銅賞】

▽野中慎南▽中村泉希

▽村井宝▽清水洗建

地域NEWS

伊佐見小の児童6人に表彰状

県合材協会40周年作文コンクール



静岡県アスファルト合材協会(静岡市葵区)は16日、協会40周年の作文コンクールで受賞した浜松市立伊佐見小学校の児童6人を表彰した。写真。須山宏造副会長が同校を訪れ表彰式を行い賞状と記念品を児童に手渡した。

同校の児童が昨年8月に西部合材リサイクルセンター協同組合(浜松市西区)の工場を見学した作文が表彰されたもの。児童は「表彰されてうれしいです。見学はとても楽しかった」と、うれしそうに話していた。

アスファルトと父

下田中学 2年A組 山下 さくら

アスファルト講座にて、色々分かりました。実際に、アスファルトを作っている所や丸三工業で働いている人の姿を見て、アスファルトって身近にある物なのにアスファルトについて深く考えていなかったな、と思いました。

私の父は、アスファルトなどをあつかっている仕事をしているのでいつも家に帰ってくると、家中にアスファルトのにおいや色々なにおいがします。それはちょっとヤダなと思っていたけど、いっしょうけんめいに働いたしょうこだなって思いました。丸三工業の人達も暑い中、寒い中ずっと道路を作ってくれていると思うと、道路を汚くしないできれいに付けていきたいなと思いました。

これからは、父の帰ってきたにおいにもがまんをし、道路を作ってくれている皆さんに感謝の気持ちを忘れないでいきたいです。

小さな道路

下田中学 2年C組 進士 真心

「ザッザッザ、シュー。」

さっきまで砂利だったのにローラーにかけられると、あっという間に見慣れたアスファルトに変わった。

「うわーすごい。マジックみたい。」

私は思わずつぶやいた。今までアスファルトが何でできていて、どう造られているか知らなかった私はただただ驚くばかりだった。目の前で完成した小さな道路に私は見とれてしまった。頭の中にはさっきのアスファルトができる光景が繰り返される。

私はこの日初めてアスファルトに感動した。そしてなぜかアスファルトにありがたみを感じ、たくさんの疑問を持った。

（これを考えた人はすごいな。そもそもこれを発明した人は誰なんだろう。）

そんな今まで考えなかったことがたくさん思い浮かんだ。

これから私達は夏休みをむかえる。今回の工場見学でもった疑問を自由研究などで解決したいと思った。そしてあの感動的なシーンを多くの人に見てもらいたいと思った。私はあのシーンを忘れない。アスファルトを見るたび思い出す。小さな道路ができる瞬間を。

ぼくのすきな道

伊佐見小学校 4年3組 岩谷 凱翔

ぼくは、いつも遊びに行くとき、自転車に乗っていくことが多いです。そのため、でこぼこしていない真っすぐにのびた、平らな道が好きです。

でも、実さいには、歩行者用の道には、だん差が多いことに気がつきます。ぼくには、六才はなれた弟がいます。ベビーカーをおしているとだん差に車輪がひっかかってしまい、のせにくく歩きにくい体験をしたことがあります。一人で歩くだけでは考えもしませんでした。きっと車いすの人やおとしよりの人には、とても不べんなのではないかと思います。

また、てんじブロックがある道とない道があることにも気がつきました。

みんなが、気もちよくとおれる道がふえ、安心してすごせる社会にもっとなればいいなあと思います。

いつも通る道

下田中学 2年B組 平尾 柊

いつも通学路として通っている道。その道をつくる過程をくわしく教えてもらったり、アスファルトの種類などを資料を用意してもらい説明していただいたマルサン工業の人達。この説明をきいたことで、道をつくるのが大変で、いろいろな工夫がされていることがわかりました。今では、自分があたりまえに通っている道でも感謝の気持ちでいっぱいです。

自分が一番おどろいたのは、アスファルトの種類です。アスファルトといっても、保水性舗装と排水性舗装とがあることがおどろきました。これで、場所によって使い分けことができ、それぞれの特色をいかせるようになるということがすごいと思いました。

この体験によってふだんあたり前のように通っている道でもたくさんの人の苦労があったことを知りました。これから道を通るときには、たくさんの技術がつまっていること、たくさんの道をつくってくれた人達への感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。

自分たちが歩いている道路

下田中学 2年B組 堀谷 紗彩

アスファルトって何？この道路ってどうやって作ってるの？などの疑問が自分の中にはあった。丸三工業に行って少しなぞがとけた。

まず工場に見学に行き驚いたことがアスファルトプラントの製造工程だ。ここに見学しに行くまでは石を少しだけ加工して作っていると思った。けど全然違った。工程はすごく複雑になっていてそのわりにすごくはやく完成することに驚いた。しかも、一日に何tもの量を作って道路を作っている。アスファルトのよさも分かった。（道路って全部同じじゃん。）と思っていた。けど、種類が違うことでその役割や特徴も違った。

自分は見学して思ったことは、複雑な工程のアスファルトを作ったり大きい機械使って道路つくったり普段歩いている道はいろいろたくさんの苦労があった。改めて思うけど、自分たちに必要な道を汗かいて必死で作っている人たちはカッコイイなと思った。すごい、ありがとうございます。という気持ちが見学している時心にこみあげてきた。

道路の舗装とくらし

伊佐見小学校 6年2組 佐々木 賢研

道路は、ぼくたちの生活や社会経済を支える最も基礎的なもので、重要な役割を持っているものです。例えば、ぼくたちが安全に通行できたり、物資を輸送したり、その道路を区切って、街をつくることができます。

道路の表面は、アスファルト合材で舗装されています。このアスファルト合材は、車の振動をおさえたり、騒音を少なくするために使われています。最近では透水性や遮熱性に優れた舗装が、実際に使われたり、研究されたりしています。ぼくの住んでいる浜松市は、交通における自動車の依存度が高いので、環境にも配慮して舗装された道路は、事故を少なくしたり、燃費がよくなったりして経済的です。

将来、ぼくは、車を運転することになるでしょう。今ある道路が、より活用、整備されて、くらしが豊かになると、いいと思います。

工場見学をしてみて思ったこと

下田中学 2年A組 野中 慎南

ふだん私たちがつかっている道路には、人の手で一生けんめいつくっていることを知りました。その道路には、いくつもの種類があり、車がすべらないように雨がしみこみやすい道路や、夏は暑いから道路があつくならないようにできていたり、一つの道路を作るのはとても大変なことだと分かりました。

工場見学をして、私は今まで知らなかったことが分かり、道路をつくるのにすごく大変なことだと思いました。私はこのことを知って、つくってくれている人たちに感謝していきたいと思います。

工場見学はとても楽しかったです。ほんとうにありがとうございました。

いま歩いている道は

下田中学 2年C組 中村 泉稀

学校からの帰り道、雨の中汗水ながしてアスファルトを塗っている人達がいた。車で通るとき、いつもグチグチいっている僕もこの時はちがっていた。こんなに手間をかけて道をつくっているなんて。僕は感動した。

そして数日経ちアスファルト講座が開かれることを知った。作っているところを見学できるなんて一生に一回あるかないかのことだ。

そして見学当日、歩いて近くの丸三工業に行く。

「今歩いている道も丸三工業さんがつくった道なのかな。」

小さくつぶやいた。工場の中には大きな機械がたくさんあった。それに人の手も加わる。やはり、手間ひまがかかっていることが話をきいてもわかった。しかし、あっという間に見学はおわってしまった。

本当に短い時間だったけど、たくさんのことを学んだ。とくに勉強になったのはアスファルトの7割がリサイクルされるということだ。これは温室効果ガスの軽減につながるとおもった。

この講座をつうじて改めてアスファルトの大切さをした。だからもっと真剣に「道」というものと向き合いたいと思った。

アスファルトを知って

下田中学 2年C組 村井 宝

私は、初めて道路を作る所を見てびっくりしたことが一つあります。それは、アスファルトがドロドロじゃなく、石がたくさん入っていて砂利っぽかったからです。なぜなら、私の考えでは、ドロドロした物を乾かして道路にするのかと思っていたら、石がたくさん入った砂利を均一に整えてからローラーで圧縮して道路を作っていたからです。

次に、話を聞いて凄いなと思ったことは、東駿河湾環状道路が出来たら下田から沼津まで、今まで二時間三十分位かかっていたのが一時間と少しで行けるということです。下田から沼津まで早く行けるということは、すごいことだし郵便物も早く届くからとても便利だと思いました。丸三工業に行ってすごく勉強になったので、この知識をなにかに活かしていきたいと思います。

アスファルトが伊豆をぼくたちを

下田中学 2年A組 清水 洸建

ぼくはアスファルト工場へ見学へ行った時このような書類をもらいました。

「伊豆縦貫自動車道建設促進について」

伊豆縦貫道を今、建設していることは聞いていましたが何のために建設しているのかはまったく知りませんでした。一ページめくると要望事項が書いてありました。

伊豆地域の道路は、沿岸部の急傾斜地や急峻な山間地に位置しており、狭隘で線形不良な箇所も多く、地震や異常気象に対して脆弱である。市街地部では、各所で交通集中による慢性的な交通渋滞を引き起こすなど、道路整備が非常に遅れている。

確かにそうだと思う。特に夏に入ると観光目的で車で来る人が多く町中や海周辺の道路では、かなりの渋滞が起きている。それに、南海トラフ巨大地震と大きな被害が想定されている。

その対策としてこの伊豆縦貫道を建設するということだ。そしてこれを新東名、東名と直結したらどうだろう、伊豆地域の高速交通サービスを提供し観光・農林水産業の振興、医療機関への救急搬送の確保など多大な効果が期待できる。その道路、高速道路などを作るのに使われるのは、アスファルトではないかと思う。もしアスファルトが使われるのであれば、身近にあるアスファルト工場が観光のため、農林水産など産業のため、そして

「人の命を助けるため」

など色々な事のために役立っているのだと思う。伊豆縦貫道を作り、その材料としてアスファルトが使われるということは、ぼくたちの将来と命に係わる一本の道であり、作るための材料であるということだ。そして、アスファルトを作り、道路を作ってくれる人たちは、伊豆のため、人々のためにつくしてくれる、すばらしい人たちなのだ。

今回このような大切なことを学べたのは、丸三工業の方々のおかげだと思います。

ありがとうございました。

これからの未来作りでアスファルトが色々なことに使われることを信じています。

きちょうな体験をありがとうございました。

アスファルト合材見学に行って

伊佐見小学校 4年2組 古橋 若奈

わたしはどうやって道路ができるのか知りたかったから、見学会に参加しようと思いました。

工場につくと、じゃりが山もりにあって、思っていたより広かったのでびっくりしました。そして道路のつくり方の説明がありました。まず工場で作ったアスファルト合材をダンプで工事げんばまではこんで、アスファルトフィニッシャーという車でうすく平らにのばして合材がさめないうちにローラーをつかってよくしめかためると道路ができます。ざいりょうのアスファルトは、黒くてかたいかと思ったけど、さわるとぶにぷにしていて消しゴムみたいでした。

もし、アスファルトほそうをしていなかったら学校に行くときほこりがたって目に入っていたいからきれいな道路があってうれしいです。

アスファルト工場の見学に行って

伊佐見小学校 5年3組 藤岡 琉偉

もとは自由研究の題材にでも、と軽い気持ちでアスファルトの工場見学を申し込みました。けれどぼくはそこでいろいろなことを学びました。

まず一つ目はビルをくずしたときに出る廃材は昔はゴミとして捨てていたけれど今は材料として使うそうです。それに関しては自然環境にも気を配った取組がすばらしいと思いました。

二つ目はアスファルトの特ちょうが水にぬれてもドロドロにならない、ほこりがたたない、丈夫ということです。今は車を使うことが多いがアスファルト舗装をしていないとどうなるのでしょうか。砂ぼこりがたち視界が悪くなります。さらに石ででこぼこして乗り心地が悪くなります。アスファルト舗装は現代の車社会にとってとても便利で快適ということです。快適ドライブができるのは道路を作るいろいろな人たちのおかげだと分かりました。その人たちに感謝しないといけないなと思いました。今回の見学で学んだことをいかしていきたいです。

学んだこと

伊佐見小学校 6年4組 川口 姫星

私は、工事の説明を聞いたり実際に見たりしてアスファルトのことや、道路工事のことがよく分かりました。その中でもアスファルトのことは全然知らなかったので知れて良かったです。アスファルトが油の一種だと知ったときはとてもびっくりしました。私は、アスファルトが石のような物だと思っていたので勉強になりました。

道路工事は、思っていたより早く出来ると知りました。たくさんの機械を使って、古くなったビルや橋などを取り壊してその廃材で今は工事の材料にするというリサイクルをしながら工事をしていてすごいと思います。山を崩したり、川を掘ったりすることが少なくなり自然環境に優しいと環境のことも考えていて素晴らしいと思います。

私は道路工事や、アスファルトのことをまったく知らなかったけど、説明を聞いたり、実際に見たりして道路工事のことや、アスファルトのこと、機械のことを勉強して学びました。いろんなことを知れて良かったです。

道路は安全で安心

伊佐見小学校 6年4組 高橋 温花

私は最初道路というものはもう形ができていてパズルみたいにはめてできているのかと思ったけどまったくちがうことを工場見学で知りました。

建物をとりこわしてそのコンクリートのガラというものを工場へ運び細かくつぶしてそれを道路に使っています。アスファルトは黒い液かと思ったけど原油からいろいろなものになり取り出したあとの残り物がアスファルトだと知ったとき貴ちゃんなものなんだなと思いました。アスファルトを使えばぬれてもドロドロにならないしかわいてもほこりがたたない丈夫なものなので安全だから車の人も歩く人も安心できるいいものだなと思いました。

私が思っていたのとはちがくいろいろな機械を使いとても便利な道路にしていることを知ったので大切に使いこうと思いました。アスファルトのすごさを知れて良かったです。

クロスチェック試験制度の現状と今後

静岡県アスファルト合材協会 技術委員長 加茂 研 司
湖西アスコン共同企業体

はじめに

静岡県で平成9年に「相互乗り入れ試験」の名称で試行的かつ自主的に実施され、それを受けて平成10年には「実施要領」等の整備をしての試行実施、平成11年に現在の「クロスチェック試験」と改名し、現在とほぼ同様の形で本格施行したこの制度も本年度（平成26年度）で16回目、試行段階まで遡ると計18回目の実施となった。

1. 事前審査制度の概要、現状

アスファルト混合物事前審査制度の概要と実施状況は次のとおりである。

○概要

- ・アスファルト混合物を事前に第三者機関である混合物審査委員会が審査し認定する。
- ・工事毎、混合物毎に行っていた基準試験（配合設計など）や試験練りを省略し、発注者、工事施工者、製造者の業務の合理化、省力化を図る。
- ・品質管理の充実により、アスファルト混合物の安定した品質確保を図る。
- ・制度の基本は、自主管理による品質確保であり、合材工場が独自に定める「社内作業標準」にもとづき品質管理を実施。

○実施状況（平成25年9月現在）

- ・平成6年度に施行され、東北・北陸・中部・近畿・中国・九州の7地方整備局と沖縄総合事務局が導入済みで、33都府県およびその市町村が参画。
- ・全国515カ所の合材工場がこの制度に参加し、6,972種類の混合物が認定を受けている。

事前審査制度の概要を読むと、本県が実施しているクロスチェック試験制度と同様に「作業標準書」にもとづき、アスファルト混合物の安定した品質確保を目的とした自主品質管理であることが読み取れるが、審査は第三者が行っているところが大きな相違点と言える。

2. クロスチェックと事前審査の比較

改めてクロスチェック試験制度と事前審査制度の内容を比較してみたものを次頁、図-1に示す。

図－１．クロスチェック試験制度・事前審査制度の比較



マーシャル安定度試験供試体^{※1}、抽出試験試料^{※2}を採取。 ※1：6個作製、3個自社試験、他の3個は他社試験 ※2：2試料採取、1つは自社試験、もう1つは他社試験 === 立会試験 === ・選定されたプラント試験室で実施 静岡県・政令市がアドバイザーとして立会。 ・マーシャル安定度試験、アスファルト抽出試験を実施し、自社試験と立会試験の結果についての検討・考察を行う。 ・場合によっては再試験。 === 自主品質管理委員会 === ・合材協会正副会長、技術委員長、各支部正副技術委員長により静岡県・政令市に審査ならびに試験結果の報告、承認。	試体作製^{※3}、抽出試験試料採取・封印。 ※3：3個作製 === 試験 === ・第三者機関で実施。 ・マーシャル安定度試験、アスファルト抽出試験の実施。 === 事前審査委員会で審査 === ・管理書類及び試験機関より報告された結果をもとに審査。 ・不適合の数により認定取り消し。
--	---

図－1より、静岡県のクロスチェック試験制度と、それに関連した試験練り・プラント定期点検検査の実施内容の流れを事前審査制度と比較してみると、少なくとも同等程度のことは実施していることは明白であり、我県ではプラント定期点検検査（プラント検査）を、発注官庁の立会を受けて実施しているところは特筆すべき点であると言えるが、事前審査制度においては、審査から試験、そして認定と言うプロセスの中でそれぞれの機関が「三権分立」的になっており、我々のシステムと比較して、より「公平性」・「透明性」に訴えかけるところが大であると考えられる。

3. クロスチェック試験制度に求められていること

クロスチェック試験の書類審査時・立会試験時、ならびに自主品質管理委員会開催時には、静岡県ならびに政令市の関係部署の方々、書類審査時には三団体から舗装協会・砕石組合のこれもまた多くの方々に参加していただき、貴重なご意見・アドバイスをいただいております。そうした数々のお言葉でよく耳にする言葉は、製造管理・品質管理関係の書類のまとめ方等についてのお褒めの言葉と同時に、「馴れ合いとならないように」であるとか「マンネリ化とならないように」と言うようなお言葉もいただいております。

クロスチェック試験制度の基本的理念が「自主品質管理・相互審査」である為、この制度に第三者を招き入れての審査・試験の実施は、現状ではありえないと考えられますが、互いに審査・試験を行う場合に、その当事者が、どこまで「客観的」になれるかが重要であると言えると思います。その為には、審査する側と審査される側の両面で、現状のレベルで満足することなく、常にひとつ上のレベルを目指した姿勢で、試験員のみならず、プラント職員全員で、ひいては合材協会全体での取り組む姿勢が必要であると考えられます。

4. クロスチェック制度が今後目指すところ

平成25年1月に、当協会主催の「アスファルト舗装技術に関する研修会」で事前審査制度の運営委託されている（一社）日本道路建設業協会中部支部で、立入部会員をされている幸田正裕氏を講師に招き、『アスファルト混合物事前審査制度についての概要紹介』と言うテーマで研修会を開催した。

その研修会では、審査・調査時にどのようなことが行われているかであるとか、審査対象となっているアスファルトプラントがどのような内容・手法で管理を実施しているかが改めて知ることができたと記憶している。

その中でクロスチェックとの違いを列举すると、

1. 自動重量印字記録の活用
2. 温度管理手法
3. 管理図の自主管理幅の設定
4. 詳細な記述のなされている作業標準書
5. 審査チェックシートへの配点と点数評価

の、大きく分けて上記の5項目が挙げられる。

これを受けて平成25年度・平成26年度でのクロスチェックでは、従来の方法を見直し、新たな項目を取り入れた。

平成25年度には、

1. 書類審査時、今まで実施したことのない点数評価への基礎資料作りとして、チェックシートへの評価点の記入、およびその集計をし、数値化による全体レベルの把握。
2. 立会マーシャル安定度試験では、自動マーシャル試験機を使用し、自社試験での手動マーシャル試験機と、自動マーシャル試験機との結果の比較をし、試験精度の検討の実施。

の2点を、また平成26年度には、

1. 自動重量印字記録の設置状況および稼働状況調査
2. 過去の品質管理データの蓄積状況調査

の2点を調査し、将来的に統計的データ処理を導入していく場合の現状調査を行いました。
また、平成27年1月には、（一社）日本アスファルト合材協会より講師を派遣していただき、『品質管理データ処理の統計的手法について』と言うテーマで、「アスファルト舗装技術に関する研修会」を開催して、統計学の基礎知識とその応用について学びました。

おわりに

今後、我々は、クロスチェック試験制度発足後16年の間に蓄積された知識と製造管理・品質管理に関するノウハウをより発展的なものにし、また安全管理関係にも目を向け、今後も引き続き、事前審査制度と肩を並べるシステムとなるよう自助努力していかなければならないと感じております。

会員の皆様の惜しみないバックアップはもとより、静岡県・静岡、浜松の両政令市の関係部署の方々をはじめ、静岡県下の発注官庁の方々のより一層のご指導・ご鞭撻をお願いして結びとさせていただきます。

平成27年3月

静岡県におけるアスファルトプラントを取り巻く環境の変化

～ 時系列による数値の推移 ～

静岡県アスファルト合材協会 資料調査委員長
共同企業体 志太アスコン代表

松本 富男

はじめに

当協会が昭和50年の設立から、早いもので40年が経過いたしました。
30周年記念誌にも設立当初から30年までの、種々の数値の推移が表、ならびに図を使用しての解説により掲載されておりましたが、このたび40周年を迎え、「その後の10年」の我々の業界を取り巻く変化を数値化したものを掲載することになりました。

1. 工場数・製造量および製造能力の推移（表－1・図－1）

工場数については、平成16年当時30基あったものがその後統廃合が行われ、現在では28基に減少している。

製造量については、平成20年頃まで全県で200万トン程度あったものが、平成23年度の新東名建設時の賑わいはあったものの、その後減少傾向となっている。

また、この表から稼働率・稼働時間の推移も読み取れる。

図－1では全生産量のうち、再生合材の占める割合の変化を読み取ることができる。

2. 再生ドライヤー能力の推移（表－2）

工場の基数の減少により、全体的には減となっているが、工場単位で見るとこの10年で能力アップの改造を行った工場も見られる。

3. 普通合材・再生合材製造量（表－3）

この表は、再生合材が始まった昭和60年からの普通合材・再生合材の数量の推移を各支部ごとに取り纏めたものである。

また、再生合材が全合材の出荷量に占める割合も表記しており、ここ10年では75%前後で推移している。

4. 種類別合材製造数量（表－4）

この表は、新規合材（普通合材と改質AS合材）と再生合材の製造数量の推移について、データを取り始めた平成8年度から（途中3年間データ欠落）の数値を取り纏めたものである。

全体数量が減少していく中で、新規合材のうち、改質アスファルトを使用した合材については、ここ数年大きな落ち込みは無いのが特徴的である。

5. 使用先別合材出荷数量（表－5・図－2）

こちらの資料は平成に入ってから数量変化を、表では各年度ごと、図については5年ごとについて表している。

静岡・浜松の両市が政令市となったことを受け、県への出荷の比率が減少し、市についての出荷が増加しているのは言うまでもないが、民間への出荷比率の変化も見逃すことができない。

6. 使用先別アスファルト廃材受入数量（表－6）

こちらの資料も平成元年からのデータとなりますが、廃材の全数量的には平成17・18年の100万トン进行ピークとして横ばい、もしくは漸減傾向となっている。

しかし、近年切削機を使用する舗装補修が当たり前となっており、純粋に再生骨材として使用できにくい現状があるため、再生骨材混合割合が平成20年頃より頭打ちとなり、40%程度となっている。

おわりに

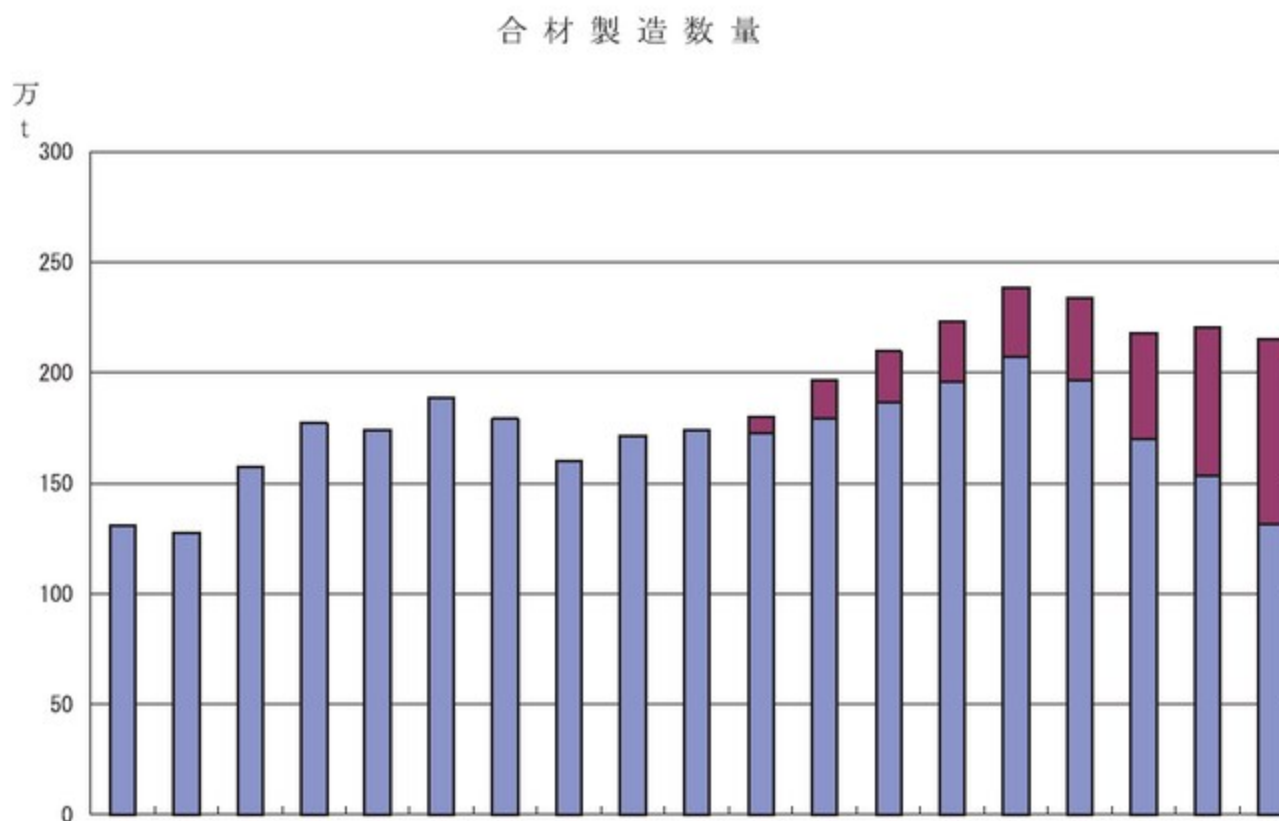
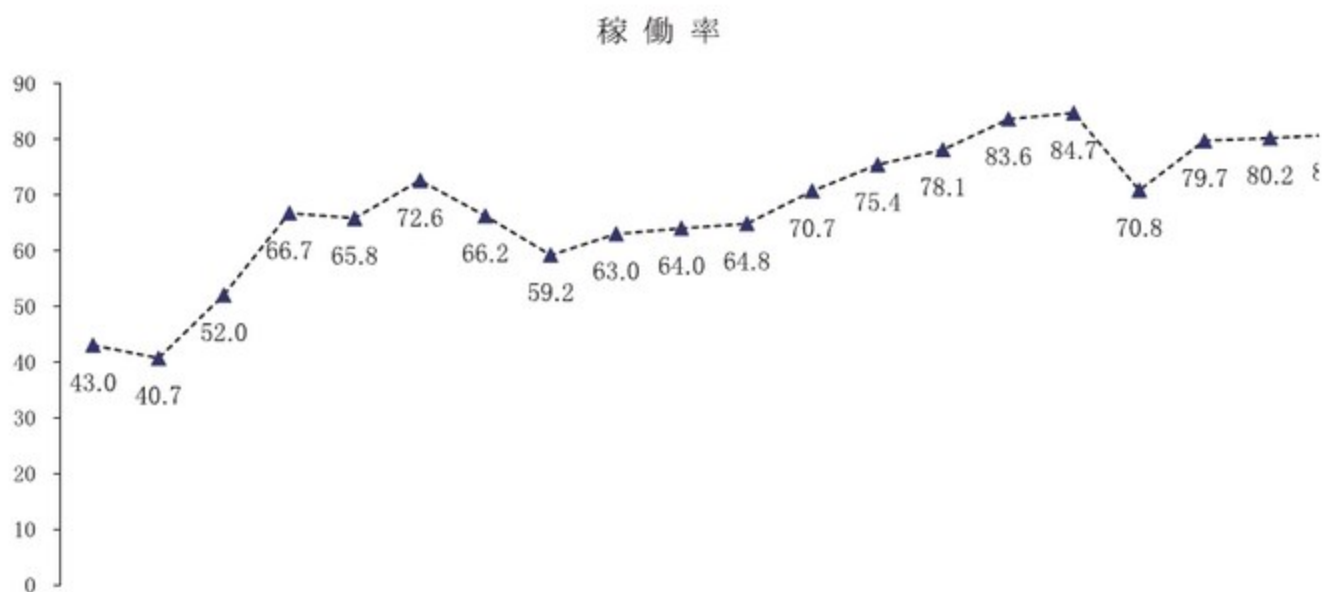
既に皆様におかれましてはご承知の数字ばかりかとは思いますが、この機会に過去を振り返っていただき、将来につなげていく一材料としていただけたら幸いです。

表－１．静岡県合材製造量及び製造能力の推移

年 度	工場数	合材製造量(t)	製造能力(t/h)	稼働率(%)	稼働時間(h)
昭和50年度	44	1,310,728	2,541	43.0	515.8
昭和51年度	47	1,274,556	2,611	40.7	488.1
昭和52年度	46	1,574,016	2,521	52.0	624.4
昭和53年度	45	1,770,998	2,211	66.7	801.0
昭和54年度	45	1,739,571	2,211	65.6	786.8
昭和55年度	44	1,884,615	2,163	72.6	871.3
昭和56年度	45	1,789,196	2,253	66.2	794.1
昭和57年度	45	1,601,401	2,253	59.2	710.8
昭和58年度	45	1,713,716	2,268	63.0	755.6
昭和59年度	45	1,740,520	2,268	64.0	767.4
昭和60年度	45	1,801,386	2,316	64.8	777.8
昭和61年度	45	1,965,272	2,316	70.7	848.6
昭和62年度	44	2,096,174	2,316	75.4	905.1
昭和63年度	44	2,228,076	2,376	78.1	937.7
平成元年度	44	2,383,945	2,376	83.6	1,003.3
平成２年度	40	2,336,342	2,300	84.7	1,015.8
平成３年度	42	2,178,673	2,566	70.8	849.1
平成４年度	36	2,203,311	2,304	79.7	956.3
平成５年度	34	2,153,393	2,238	80.2	962.2
平成６年度	32	2,110,781	2,178	80.8	969.1
平成７年度	32	1,981,675	2,424	68.1	817.5
平成８年度	32	2,106,422	2,424	72.4	869.0
平成９年度	34	2,001,295	2,649	63.0	755.5
平成10年度	33	2,102,246	2,676	65.5	785.6
平成11年度	33	2,018,564	2,676	62.9	754.3
平成12年度	33	2,101,040	2,676	65.4	785.1
平成13年度	32	2,070,109	2,706	63.8	765.0
平成14年度	31	2,054,690	2,634	65.0	780.1
平成15年度	31	2,050,910	2,724	62.7	752.9
平成16年度	30	1,997,435	2,694	61.8	741.4
平成17年度	29	1,942,168	2,574	62.9	754.5
平成18年度	29	2,015,179	2,634	63.8	765.1
平成19年度	29	2,057,915	2,634	65.1	781.3
平成20年度	29	1,966,461	2,634	62.2	746.6
平成21年度	28	1,777,981	2,616	56.6	679.7
平成22年度	28	1,504,024	2,616	47.9	574.9
平成23年度	28	1,780,640	2,616	56.7	680.7
平成24年度	28	1,452,905	2,616	46.3	555.4
平成25年度	28	1,606,044	2,616	51.2	613.9

稼働率＝合材製造量÷（プラント能力×5h×20日×12ヶ月）×100 稼働時間＝合材製造量÷プラント能力

図－１．アスファル

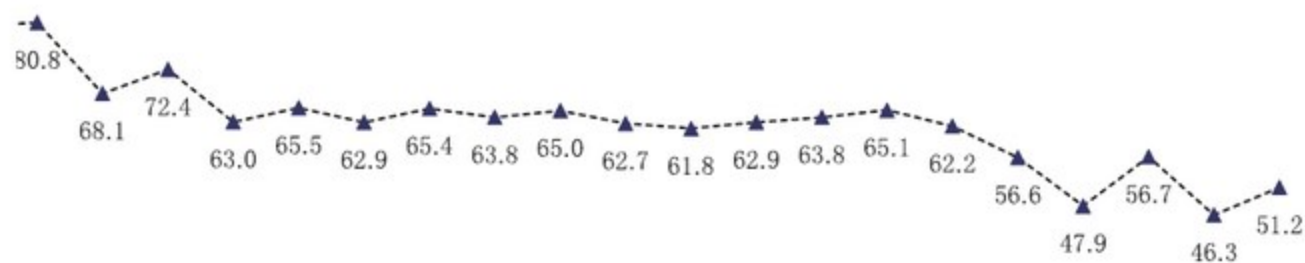


	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
新築合材	1,310,728	1,274,556	1,574,016	1,770,998	1,739,571	1,884,615	1,789,196	1,601,401	1,713,716	1,740,520	1,723,892	1,794,740	1,865,055	1,958,904	2,072,465	1,967,193	1,698,292	1,533,643	1,312,951
再生合材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77,494	170,532	231,119	269,172	311,480	369,149	480,381	669,668	840,442
合計	1,310,728	1,274,556	1,574,016	1,770,998	1,739,571	1,884,615	1,789,196	1,601,401	1,713,716	1,740,520	1,801,386	1,965,272	2,096,174	2,228,076	2,383,945	2,336,342	2,178,673	2,203,311	2,153,393

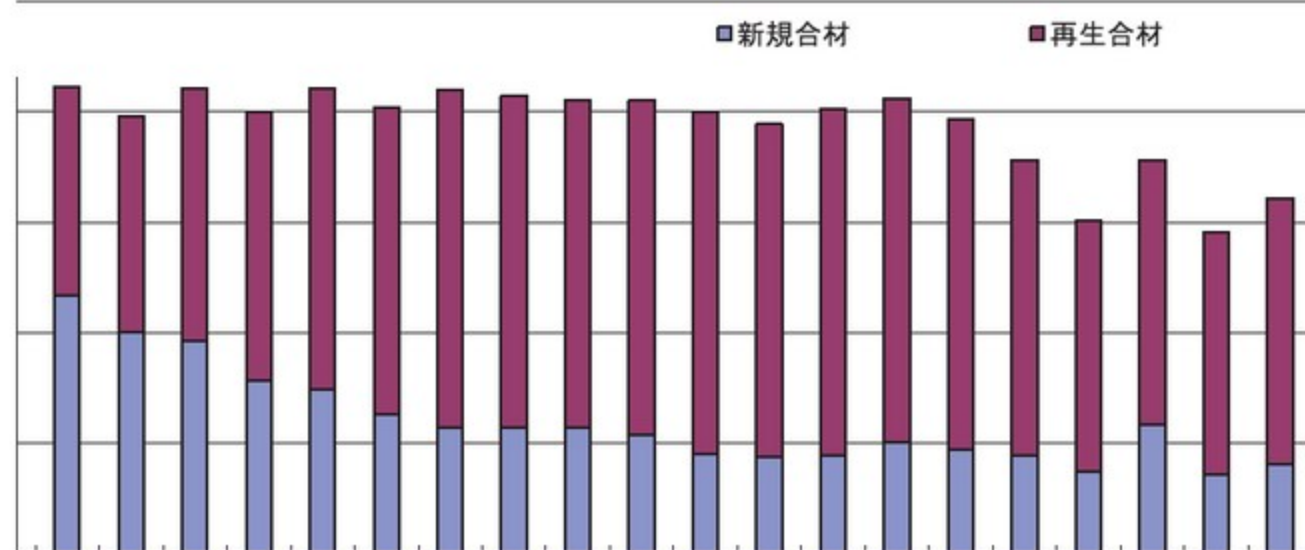
製造能力	2,541	2,611	2,521	2,211	2,211	2,163	2,253	2,253	2,268	2,268	2,316	2,316	2,316	2,376	2,376	2,300	2,566	2,304	2,238
稼働率	43.0	40.7	52.0	66.7	65.8	72.6	66.2	59.2	63.0	64.0	64.8	70.7	75.4	78.1	83.6	84.7	70.8	79.7	80.2

ト 合材製造数量推移

稼働率



合材製造数量



平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
1,171,608	1,003,277	960,198	785,066	745,592	632,296	570,577	571,184	570,478	539,957	451,372	440,977	445,704	504,208	467,840	446,988	374,632	586,021	361,786	402,347
939,173	978,398	1,146,224	1,216,229	1,356,654	1,386,268	1,530,463	1,498,925	1,484,212	1,510,953	1,546,063	1,501,191	1,569,475	1,553,707	1,498,621	1,330,993	1,129,392	1,194,619	1,091,119	1,203,697
2,110,781	1,981,675	2,106,422	2,001,295	2,102,246	2,018,564	2,101,040	2,070,109	2,054,690	2,050,910	1,997,435	1,942,168	2,015,179	2,057,915	1,966,461	1,777,981	1,504,024	1,780,640	1,452,905	1,606,044

2,178	2,424	2,424	2,649	2,676	2,676	2,676	2,706	2,634	2,724	2,694	2,574	2,634	2,634	2,634	2,616	2,616	2,616	2,616	2,616
80.8	68.1	72.4	63.0	65.5	62.9	65.4	63.8	65.0	62.7	61.8	62.9	63.8	65.1	62.2	56.6	47.9	56.7	46.3	51.2

稼働率＝合材製造数量÷（プラント能力×5h/日×20日/月×12ヶ月）×100

表-2. 静岡県下アスファルトプラント再生ドライヤー能力

(間接加熱は10トンに換算)

地区名	工場・会社名	加熱方式	昭 和					平 成																成									
			58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
東 部 地 区	昭和舗道	二重ドラム						45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
	山旺建設	並列ドラム				30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
	大有建設	並列ドラム											30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
	富士道路	並列ドラム		30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
	日本舗道(芝川)	並列ドラム				30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
	日本道路	並列ドラム				30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
	前田道路(沼津)	並列ドラム										10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	前田道路(富士宮)	並列ドラム										10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	御殿場合材センター	コールド																															
	富士アスコン	並列ドラム																															
中 部 地 区	東部リサイクルセンター	並列ドラム																															
	東部地区再生ドライヤー能力合計		0	30	90	120	120	165	165	205	215	225	255	255	270	270	330	350	350	350	350	370	370	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360
	東部地区併用再生プラント数 合計		0	1	3	4	4	5	5	5	6	7	8	8	8	8	9	9	9	9	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
	大河原舗装	コールド					10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	大石建設	コールド															10	10	10														
	静岡リサイクルセンター	並列ドラム									45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	
	東海建設工業	並列ドラム	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
	TOREKI・NIPPO JV	並列ドラム																								60	60	60	60	60	60	60	60
	前田道路(岡部)	並列ドラム									10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	志太アスコン岡部工場	並列ドラム																								30	30	30	30	30	30	30	30
西 部 地 区	大林道路	並列ドラム				30	30	30	30	30	30	30	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
	岡部アスコン	並列ドラム															30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	
	三井住建道路	並列ドラム																								40	40	40	40	40	40	40	40
	セイエン商事	コールド																															
	志太アスコン藤枝工場	コールド																															
	中部地区再生ドライヤー能力合計		30	30	30	60	70	70	70	105	115	115	150	150	150	160	190	190	180	180	200	200	210	210	230	245	245	245	245	245	245	245	245
	中部地区併用再生プラント数 合計		1	1	1	2	3	3	3	3	4	4	5	5	5	6	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
	協和建設協同組合	並列ドラム		30	30	30	30	30	30	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
	浜岡アスコン	並列ドラム									30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
	西部合材リサイクル	並列ドラム			30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
大成道路	コールド						10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
西 部 地 区	湖西アスコン	並列ドラム									60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
	日本舗道(掛川)	コールド			10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	中遠合材センター	並列ドラム									70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
	磐田建設	並列ドラム							45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
	豊松建設	コールド																															
	前田道路(浜松)	並列ドラム				30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
	浜松中央アスコン(前田工場)	並列ドラム																															
	西遠アスコン	並列ドラム										10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	天竜川砂利プラ	コールド																															
	渡辺組	並列ドラム																															
浜岡アスコン共同企業体	並列ドラム																																
西 部 地 区	西遠コンクリート	二重ドライヤー																															
	掛川アスコン	並列ドラム																															
	西部地区再生ドライヤー能力合計		0	30	60	70	100	110	155	170	310	340	340	400	400	400	430	450	450	480	480	480	540	510	510	540	540	485	485	485	485	485	
	西部地区併用再生プラント数 合計		0	1	2	3	4	5	6	6	7	10	10	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
全県再生ドライヤー能力合計(t/h)			30	90	180	250	290	345	390	480	640	680	745	805	820	830	950	990	980	980	1,030	1,030	1,060	1,120	1,100	1,115	1,145	1,145	1,090	1,090	1,090	1,090	1,090
全県下併用再生プラント数			1	3	6	9	11	13	14	14	17	21	23	24	24	25	28	28	27	27	27	27	26	26	25	25	25	25	24	24	24	24	24

表－3．静岡県普通・再生合材製造量

単位：千トン

年 度	併用再生 工場数	トラヤ能力 (t/h)	東 部 支 部			中 部 支 部			西 部 支 部			静 岡 県 合 計			再生合材 製造割合
			普 通	再 生	計	普 通	再 生	計	普 通	再 生	計	普 通	再 生	計	
昭和60年度	6	180	690	77 (再生合材含む)	690	422	43 (再生合材含む)	422	689	50	689	1,724	77	1,801	4.3%
昭和61年度	9	250	669		746	415		458	711		761	1,795	170	1,965	8.7%
昭和62年度	11	290	693	98	791	460	69	529	712	64	776	1,865	231	2,096	11.0%
昭和63年度	13	345	760	102	862	483	85	568	716	82	798	1,959	269	2,228	12.1%
平成元年度	14	390	767	109	876	511	93	604	795	109	904	2,073	311	2,384	13.0%
平成2年度	14	480	762	107	869	459	115	574	746	147	893	1,967	369	2,336	15.8%
平成3年度	17	640	672	124	796	411	141	552	615	216	831	1,698	481	2,179	22.1%
平成4年度	21	680	638	155	793	345	203	548	551	312	863	1,534	670	2,204	30.4%
平成5年度	23	745	544	209	753	293	228	521	476	403	879	1,313	840	2,153	39.0%
平成6年度	24	805	496	268	764	244	233	477	431	437	868	1,171	938	2,109	44.5%
平成7年度	24	820	461	261	722	202	249	451	340	468	808	1,003	978	1,981	49.4%
平成8年度	25	830	419	299	718	214	296	510	326	552	878	959	1,147	2,106	54.5%
平成9年度	28	950	387	295	682	144	289	433	254	632	886	785	1,216	2,001	60.8%
平成10年度	28	990	358	352	710	165	334	499	223	671	894	746	1,357	2,103	64.5%
平成11年度	27	980	272	390	662	143	304	447	217	692	909	632	1,386	2,018	68.7%
平成12年度	27	980	218	424	642	130	352	482	223	755	978	571	1,531	2,102	72.8%
平成13年度	27	1,030	233	439	672	132	360	492	207	700	907	572	1,499	2,071	72.4%
平成14年度	27	1,030	251	453	704	136	354	490	183	677	860	570	1,484	2,054	72.2%
平成15年度	26	1,060	243	480	723	109	338	447	188	692	880	540	1,510	2,050	73.7%
平成16年度	26	1,120	236	485	721	106	335	441	110	726	836	452	1,546	1,998	77.4%
平成17年度	25	1,100	219	482	701	112	312	424	110	707	817	441	1,501	1,942	77.3%
平成18年度	25	1,115	227	461	688	103	364	467	116	745	861	446	1,570	2,016	77.9%
平成19年度	25	1,145	235	480	715	137	370	507	132	704	836	504	1,554	2,058	75.5%
平成20年度	25	1,145	204	465	669	121	361	482	142	672	814	467	1,498	1,965	76.2%
平成21年度	24	1,090	220	438	658	107	306	413	119	587	706	446	1,331	1,777	74.9%
平成22年度	24	1,090	182	378	560	105	284	389	87	467	554	374	1,129	1,503	75.1%
平成23年度	24	1,090	210	383	593	191	335	526	185	477	662	586	1,195	1,781	67.1%
平成24年度	24	1,090	172	353	525	96	313	409	94	425	519	362	1,091	1,453	75.1%
平成25年度	24	1,090	180	386	566	102	319	421	121	498	619	403	1,203	1,606	74.9%

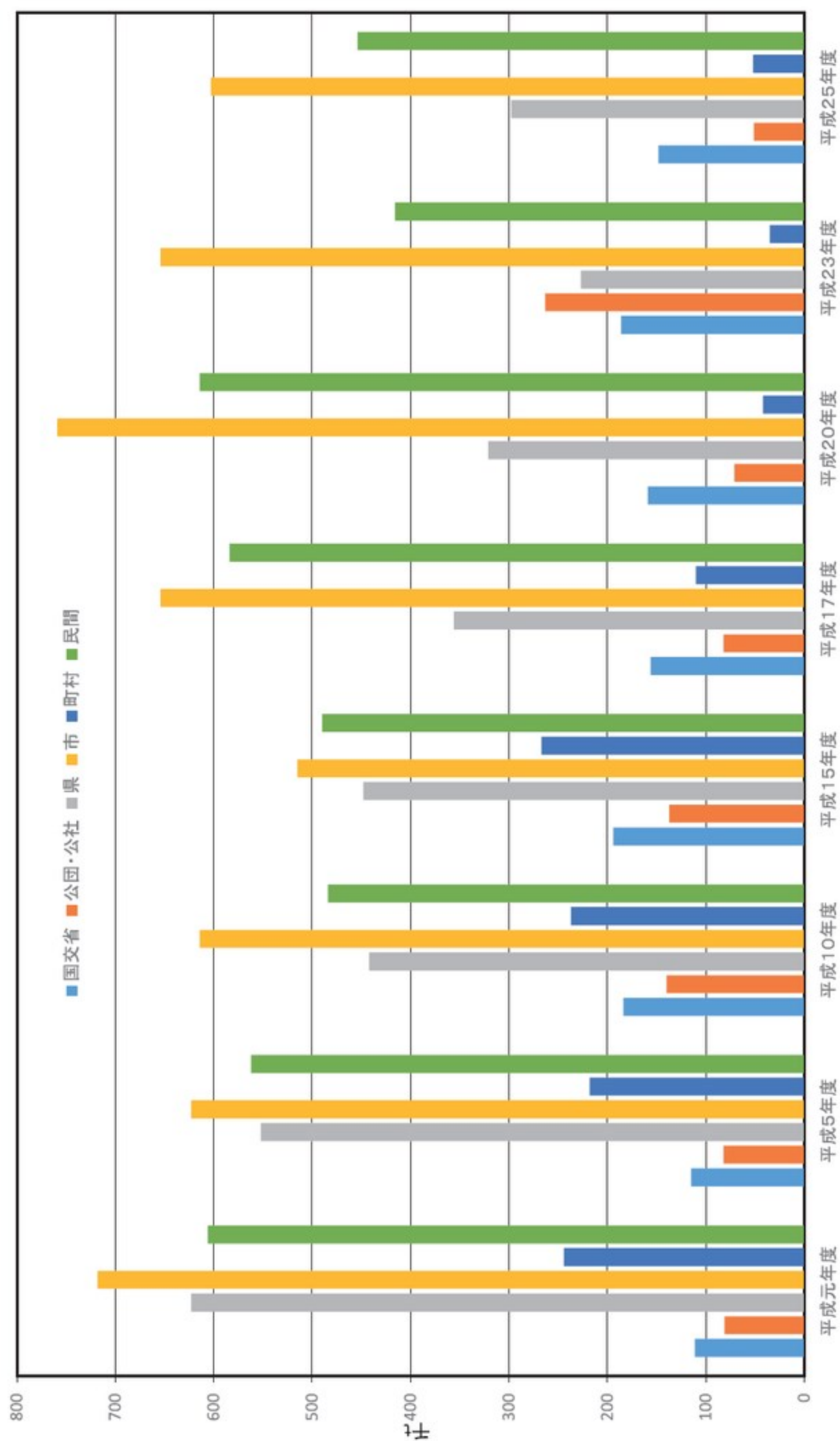
※製造数量は千トン未満四捨五入した。

表一４．静岡県 種類別Ａｓ合材製造数量

単位：トン

年 度	新 規 合 材											再 生 合 材					
	普通合材						改質ＡＳ合材					計					
	細 粒	密 粒	粗 粒	Ａｓ安定	常遇合材	小 計	改質Ⅰ型	改質Ⅱ型	高粘度	その他	計	細 粒	密 粒	粗 粒	Ａｓ安定	その他	計
平成８年度		489,488	54,798	42,791		587,077	201,305		43,576	128,240	960,198		766,937	130,362	107,206	141,719	1,146,224
平成９年度	34,201	381,402	47,607	41,989		505,199	65,377	70,494	49,118	94,878	785,066	50,820	867,062	135,684	146,096	16,567	1,216,229
平成10年度	26,524	285,454	48,207	37,131		397,316	93,811	80,498	64,431	109,536	745,592	56,380	1,004,388	157,926	123,985	13,975	1,356,654
平成11年度																	
平成12年度																	
平成13年度																	
平成14年度	14,183	141,092	26,194	15,052	5,359	201,880	91,516	107,010	96,458	73,614	570,478	65,973	1,103,010	185,302	117,292	12,635	1,484,212
平成15年度	13,098	89,924	20,614	22,525	6,433	152,594	91,521	138,968	78,461	78,413	539,957	62,974	1,102,511	209,444	135,284	740	1,510,953
平成16年度	7,764	67,553	18,581	15,445	4,493	113,836	93,653	116,365	52,123	75,395	451,372	57,722	1,200,565	178,891	99,449	9,436	1,546,063
平成17年度	7,741	73,128	9,338	11,583	3,568	105,358	97,479	127,623	53,374	57,143	440,977	54,394	1,177,129	172,169	95,477	2,022	1,501,191
平成18年度	5,808	49,593	12,156	19,105	3,634	90,296	85,224	145,330	67,460	57,394	445,704	46,550	1,181,221	195,012	134,978	11,714	1,569,475
平成19年度	5,272	62,494	5,950	6,415	2,188	82,319	110,081	167,899	74,221	69,688	504,208	48,653	1,157,399	190,240	143,793	13,622	1,553,707
平成20年度	5,165	42,119	7,060	9,360	4,129	67,833	94,562	156,456	74,305	74,684	467,840	49,469	1,127,035	185,075	122,709	14,333	1,498,621
平成21年度	4,631	47,068	7,599	6,240	5,061	70,599	88,271	151,102	79,801	57,215	446,988	39,762	987,953	173,452	118,340	11,486	1,330,993
平成22年度	3,862	39,711	8,481	4,879	4,851	61,784	79,541	124,443	46,238	62,626	374,632	36,334	844,693	142,821	97,933	7,611	1,129,392
平成23年度	7,663	40,641	14,522	52,356	2,337	117,519	70,450	184,074	86,560	127,418	586,021	31,993	838,471	178,546	129,979	15,630	1,194,619
平成24年度	4,301	45,895	13,201	6,418	4,036	73,851	71,732	122,227	49,181	44,795	361,786	30,040	784,977	160,903	97,429	17,770	1,091,119
平成25年度	4,770	38,400	9,916	8,221	3,473	64,780	89,261	141,332	55,135	51,839	402,347	25,251	841,500	183,856	130,947	22,143	1,203,697

图一2. 使用先别合材出荷数量



表－6．使用先別アスファルト廃材受入数量

(単位：トン)

年 度	国交省	公団・公社	県	市	町村	民間	合計	再生合材 出荷数量	再生骨材 使用数量	再生合材 配合割合
平成元年度	17,964	1,012	68,488	127,811	14,444	36,231	265,950	311,480	130,340	41.8%
平成2年度	19,581	903	94,751	165,000	20,673	66,263	367,171	367,543	154,717	42.1%
平成3年度	17,805	2,167	103,916	176,756	22,049	50,519	373,212	480,381	187,023	38.9%
平成4年度	36,682	3,528	150,670	245,731	35,551	58,258	530,420	669,668	241,433	36.1%
平成5年度	14,732	9,044	139,449	305,316	47,903	63,858	580,302	840,442	257,801	30.7%
平成6年度	29,108	15,900	203,692	303,597	42,450	79,581	674,328	939,173	268,908	28.6%
平成7年度	26,070	9,396	168,014	311,225	44,984	127,835	687,524	978,398	286,770	29.3%
平成8年度	39,658	16,482	175,690	346,910	57,735	142,673	779,148	1,146,224	328,775	28.7%
平成9年度	52,522	36,809	156,080	331,157	67,846	155,450	799,864	1,216,229	338,863	27.9%
平成10年度	88,012	32,633	145,585	346,278	74,127	146,153	832,788	1,356,654	370,525	27.3%
平成11年度	47,177	38,744	171,063	380,342	79,044	151,118	867,488	1,386,268	384,862	27.8%
平成12年度	80,504	39,648	172,262	374,099	80,777	212,957	960,247	1,530,463	430,807	28.1%
平成13年度	61,648	60,658	207,968	371,436	95,154	190,277	987,141	1,498,925	432,295	28.8%
平成14年度	71,645	81,350	206,248	350,621	107,509	216,770	1,034,143	1,484,212	427,046	28.8%
平成15年度	106,951	46,529	185,471	311,741	106,673	209,533	966,898	1,510,953	436,641	28.9%
平成16年度	90,680	37,744	194,521	322,477	103,474	229,244	978,140	1,546,063	491,213	31.8%
平成17年度	120,018	34,101	159,244	386,177	39,620	246,967	986,127	1,501,191	504,789	33.6%
平成18年度	86,270	47,360	166,830	425,403	31,997	242,683	1,000,543	1,569,475	553,010	35.2%
平成19年度	114,003	41,002	125,825	467,228	34,414	252,966	1,035,438	1,553,707	555,930	35.8%
平成20年度	98,736	46,455	120,307	453,817	10,799	228,872	958,986	1,498,621	586,450	39.1%
平成21年度	118,835	36,136	112,012	464,122	15,195	199,851	946,151	1,330,993	541,748	40.7%
平成22年度	48,910	63,873	108,089	384,799	15,356	176,532	797,559	1,129,392	456,659	40.4%
平成23年度	69,228	119,827	109,454	424,132	14,129	200,937	937,707	1,194,619	479,742	40.2%
平成24年度	60,164	40,105	102,883	376,717	18,365	195,222	793,456	1,091,119	459,953	42.2%
平成25年度	62,408	42,071	142,133	401,484	19,988	221,933	890,017	1,203,697	490,666	40.8%

静岡県アスファルト合材協会 表彰者一覧

◎叙勲 勲5等瑞宝章

年度	表 彰 者		表 彰 事 由
H08	平松 金一	(常任相談役)	建設事業関係功労表彰

◎リデュース・リユース・リサイクル推進協議会 会長表彰

年度	表 彰 者		表 彰 事 由
H14	静岡県アスファルト合材協会		アスファルト合材のリサイクル推進

◎国土交通大臣表彰

年度	表 彰 者		表 彰 事 由
H15	岡本 彦一	須山建設(株)	建設事業関係功労表彰

◎(一社)全国建設産業団体連合会 会長表彰

年度	表 彰 者		表 彰 事 由
H13	岡本 彦一	須山建設(株)	建設事業関係功労表彰

◎(一社)静岡県建設産業団体連合会 会長表彰 (平成3年度までは静岡県建設産業会議所会長表彰)

年度	表彰者氏名	会社名	年度	表彰者氏名	会社名
S56	平松 金一	東海瀝青工業(株)	H09	中西 久知	富士道路(株)
S57	吉野 六郎	東海瀝青工業(株)	H10	植松 正裕	東海瀝青工業(株)
S58	七澤 三郎	昭和舗道(株)	H11	鈴木 武志	磐田瀝青舗材共同企業体
S59	田代 豊	富士道路(株)	H12	海野 裕之	(株)海野建設
S60	神谷 孝一	神谷建設(株)	H13	榎本 富雄	東海瀝青工業(株)
S61	岡本 彦一	須山建設(株)	H14	水島 義孝	須山建設(株)
S62	池谷 康二	菅原建設(株)	H15	田中 豊	丸三工業(株)
"	後藤 安宏	山旺建設工業(株)	H16	藤浪 準司	静和工業(株)
S63	岩本 榮久	協和建設協業組合	H17	太田 雅章	(株)中村組
H01	大河原 有三	大河原舗装(株)	H18	加藤 幸宏	御殿場合材センター
H02	大滝 輔一	東海瀝青工業(株)	H19	田中 浩二	大林道路(株)静岡アスファルト混合所
H03	久米 俊明	協和建設協業組合	H20	鈴木 正志	西部合材リサイクルセンター(協)
H04	神谷 勲雄	神谷建設(株)	H21	森田 富久	(株)NIPPOコーポレーション芝川合材工場
H05	土屋 義正	昭和舗道(株)	H22	松本 富雄	共同企業体志太アスコン
H06	池田 等	(株)中村組	H23	中村 早千夫	(株)中村組
H07	大高 圭介	花菱合成(株)	H24	佐藤 裕司	山旺建設工業(株)
"	鈴木 眞康	中遠合材センター共同企業体	H25	望月 悠治	TOREKI・NIPPO JV
H08	田邊 昌明	中村建設(株)	H26	神谷 一宏	神谷建設(株)
"	秋野 正男	大河原舗装(株)			

◎(一社)日本アスファルト合材協会 会長表彰

年度	表彰者氏名	会社名	年度	表彰者氏名	会社名
H05	平松 金一	東海瀝青工業(株)	H16	加藤 幸宏	白幸産業(株)
"	久米 俊明	協和建設協業組合	"	中村 昭三	神谷建設(株)
"	後藤 安宏	山旺建設工業(株)	"	青木 圭介	佐藤道路(株)
H06	大石 庄十	大石建設(株)	H17	田中 豊	丸三工業(株)
"	池谷 康二	菅原建設(株)	"	榎本 富雄	東海瀝青工業(株)
"	池田 等	(株)中村組	"	伊藤 実	天竜川砂利プラント(協)
H07	永井 勇	丸三工業(株)	H18	佐藤 裕司	山旺建設工業(株)
"	石村 幸弘	東海瀝青工業(株)	"	藤浪 準司	静和工業(株)
"	岩本 栄久	協和建設協業組合	"	堀内 安雄	協和建設協業組合
H08	七澤 三郎	昭和舗道(株)	H19	山地 清志	花菱建設(株)
"	鈴木 磯太郎	大石建設(株)	"	山田 稔弥	(株)エコワーク
"	神谷 勲雄	神谷建設(株)	"	岡本 達二	須山建設(株)
H09	土屋 義正	昭和舗道(株)	H20	飯田 雅和	山旺建設工業(株)
"	上原 仁	前田道路(株)	"	内田 弘	(株)エコワーク
"	高木 眞	神谷建設(株)	"	森 洋一	西遠アスコン共同企業体
H10	稲葉 尚武	(株)海野建設	H21	渡邊 拓男	山旺建設工業(株)
"	大高 圭介	花菱合成(株)	"	佐藤 千速	(共)志太アスコン藤枝工場
"	鈴木 眞康	日本舗道(株)	"	岩崎 誠示	(共)浜松中央アスコン前田工場
H11	中西 久知	富士道路(株)	H22	前田 三四志	菅原建設(株)静岡営業所
"	神谷 勲雄	神谷建設(株)	"	森本 和男	三井住建道路(株)岡部アスコン
"	秋野 正男	(株)エコワーク	"	水内 義典	磐田瀝青舗材共同企業体
H12	真野 登	(株)斎藤組	H23	木内 政美	富士道路(株)
"	山梨 寛司	セイエン商事(株)	"	生子 利晴	静和工業(株)
"	市川 勇一郎	乗松建設(株)	"	鈴木 正志	西部合材リサイクルセンター(協)
H13	植松 政明	昭和舗道(株)	H24	古川 照章	日本道路(株)静岡合材センター
"	柏原 隆弘	鹿島道路(株)	"	中村 早千夫	(株)中村組
"	水島 義孝	須山建設(株)	H25	二田口 勝彦	前田道路(株)中部支店
H14	海野 裕之	(株)海野建設	"	大石 健仁	大石建設(株)
"	太田 雅章	(株)中村組	H26	中島 守雄	TOREKI・NIPPO JV
"	大池 鶴夫	東海瀝青工業(株)	"	松下 行雄	磐田瀝青舗材事業所
H15	鈴木 武志	中村建設(株)			
"	住友 哲也	花菱建設(株)			
"	加藤 幸孝	丸三工業(株)			

静岡県アスファルト合材協会 創立20周年記念表彰

平成7年6月15日

特別功労者（感謝状）

平松 金一	藤枝市藤枝5丁目12-24
久米 俊明	浜松市富塚町689-24

役員・委員（感謝状）

後藤 安宏	山旺建設工業(株)	池谷 康二	菅原建設(株)
中村 拓男	山旺建設工業(株)	生子 隆則	静和工業(株)
竹田 要	東海瀝青工業(株)	宮城島 光二	花菱合成(株)
大高 圭介	花菱合成(株)	神谷 勲雄	神谷建設(株)
竹村 寧	中村建設(株)	岩本 榮久	協和建設協業組合
池田 等	(株)中村組	宗賀 元春	中村建設(株)
足立 学	前田道路(株)	武井 勇	日本道路(株)
植松 政明	昭和舗道(株)	住友 哲也	花菱合成(株)
鈴木 眞康	日本舗道(株)	田邊 昌明	中村建設(株)
高木 眞	神谷建設(株)		

優良職員（表彰状）

永井 勇	丸三工業(株)	久保田 守志	花菱合成(株)
新井山 松竹	菅原建設(株)	稲葉 尚武	(株)海野建設
志村 茂	大有建設(株)	中野 睦雄	昭和舗道(株)
広海 通穂	臼幸産業(株)	田村 嘉之	山旺建設工業(株)
野上 正明	前田道路(株)	木内 政美	富士道路(株)
芝田 耕造	東海瀝青工業(株)	園田 久夫	住友建設(株)
松村 嗣郎	セイエン商事(株)	平松 範夫	大河原舗装(株)
山本 治夫	大石建設(株)	三島 健一	日本舗道(株)
市川 勇一郎	乗松建設(株)	黒田 修一	大成ロテック(株)
杉山 丈壺	(株)中村組	石川 南	前田道路(株)
太田 良雄	須山建設(株)	柘植 敏彦	協和建設協業組合

静岡県アスファルト合材協会 創立30周年記念表彰

平成16年6月1日

特別功労者（感謝状）

岡本 彦一	須山建設(株)
藤浪 準司	静和工業(株)
内田 弘	(株)エコワーク

役員・委員（感謝状）

中西 久知	富士道路(株)	秋野 正男	(株)エコワーク
海野 裕之	海野建設(株)	山梨 寛司	セイエン商事(株)
田中 豊	丸三工業(株)	太田 雅章	(株)中村組
榎本 富雄	東海瀝青工業(株)	鈴木 武志	磐田瀝青舗材共同企業体
大石 庄十	大石建設(株)	水島 義孝	須山建設(株)

優良職員（表彰状）

佐藤 照光	丸三工業(株)	鈴木 秀昭	静和工業(株)
山地 清志	花菱建設(株)	佐藤 紀夫	東海瀝青工業(株)
原田 徹	昭和舗道(株)	堀内 安雄	協和建設協業組合
飯田 雅和	山旺建設工業(株)	前田 高	大成ロテック(株)
加藤 幸宏	臼幸産業(株)	芥川 直己	乗松建設(株)
影山 貫也	大有建設(株)静岡支店	本田 哲夫	西遠アスコン
佐野 良一	富士道路(株)	水内 義典	磐田瀝青舗材共同企業体
佐野 国光	(株)NIIP0コーポレーション芝川合材工場	岩崎 誠示	前田道路(株)浜松合材工場
河村 盛男	大石建設(株)	鈴木 淳二	浜岡アスコン
村澤 和宏	(株)エコワーク		

静岡県アスファルト合材協会 創立40周年記念表彰

平成27年6月3日

特別功労者（表彰状）

田中 豊	丸三工業株式会社
岩本 榮久	協和建設協業組合
大高 圭介	花菱建設株式会社

役員・委員（感謝状）

神谷 一宏	神谷建設株式会社	鈴木 正志	西部合材リサイクルセンター協同組合
大石 卯吉	大石建設株式会社	佐藤 裕司	山旺建設工業株式会社
内田 弘	株式会社 エコワーク	松本 富雄	共同企業体 志太アスコン

優良職員（表彰状）

井上 高廣	昭和舗道株式会社	金田 博志	須山建設株式会社
安西 美由紀	日本道路㈱静岡合材センター	海野 錠一	大林道路㈱静岡アスファルト混合所
佐藤 紀夫	TOREKI・NIPPO JV		

あ と が き

今回の「四十年史」の編集にあたり、当初編集委員長には、当時東部支部常任幹事を務められていた、昭和舗道(株)の日比氏が選任されておりました。しかし、平成25年の12月末の日比氏の急逝を受け、急遽私がピンチヒッターとなったのが、今回私が編集委員長を務めさせていただいた経緯です。

あまりにももの大役で、どうしていいものか分からずに取り掛かったこの記念誌ですが、三十年史を参考としながら、その後の10年の追記という形を基本方針として掲げ、また今回、「加盟アスファルトプラント紹介」のページを新たに設け、合材協会加盟会社・加盟プラントの皆さんにも参画してもらい、ということも念頭に入れ、編集を進めてまいりました。

編集委員の皆さんのバックアップと、協会内外を問わずの多くの皆様のお陰をもちまして、何とか形とすることができました。

日比氏への記念誌完成報告とともに、ご尽力いただきました皆様への感謝の意を表しまして結びとさせていただきます。

平成27年3月

編集委員長 加 茂 研 司

静岡県アスファルト合材協会「四十年史」編集委員

	氏 名	協会役職	所属会社
編集委員長	加茂 研司	本部技術委員長	湖西アスコン共同企業体
編集副委員長	渡邊 満弘	東部支部技術委員長	丸三工業株式会社
〃	中島 守雄	中部支部技術副委員長	TOREKI・NIPPO JV
〃	金田 博志	西部支部技術副委員長	西部合材リサイクルセンター(協)
合材協会事務局	高田 明彦		(一社)静岡県建設業協会

四十年史の編集にあたりご協力をいただいた方々

氏 名	協会役職	所属会社
田中 豊	協会長・総務委員長	丸三工業株式会社
大高 圭介	東部・中部支部常任幹事	花菱建設株式会社
松本 富男	資料調査委員長	共同企業体 志太アスコン
中村 昭三	西部支部資料調査委員	神谷建設株式会社
内山 淳	西部支部技術副委員長	共同企業体 浜松中央アスコン 西遠工場

ほか、県内28工場の工場責任者の方をはじめとする職員ご一同様

